I-O DATA

Apple iMac,iBook,PowerMacintosh G3/G4,PowerBook G3シリーズ
NEC PC98-NXシリーズ
DOS/Vマシン　対応

USB対応　外付型MOドライブ

MOA-AX/USB Series
取扱説明書

ダミー表紙付

株式会社 アイ・オー・データ機器

58123-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i・CONNECT™およびi・CONNECT™のロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MOA-AX/USBシリーズ 取扱説明書
2000.Aug.02 58123-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

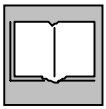
© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
MOA-AX/USBシリーズ	MOA-AX640S/USB, MOA-AX640SW/USB, MOA-AX230H/USBおよびMOA-AX230HW/USBの総称
Macintosh	iMac, iBook, PowerMacintosh G3/G4, PowerBook G3シリーズ
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System、およびMicrosoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional



もくじ

お読みになる前に..... i
もくじ..... ii

はじめに……1

本製品を使えば ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
ユーザー登録しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
取り扱い及び使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
添付品を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

Macintoshでご使用の場合……17

ステップ1　**iMac(ボンダイブルー)では バージョンアップが必要** ・・ 18
ステップ2　**ドライバソフトのインストール** ・・ 25
ステップ3　**取り付けよう** ・・・・・・・・・・・・ 26
ステップ4　**一部のiMacでの注意事項** ・・・・・・ 31
ステップ5　**基本操作について** ・・・・・・・・・・ 33

Windows98でご使用の場合……37

ステップ1　**インストール前の確認** ・・・・・・・ 38
ステップ2　**インストール** ・・・・・・・・・・・・ 39
ステップ3　**パフォーマンスを最適化させる** ・・ 48
ステップ4　**基本操作について** ・・・・・・・・・・ 49
補足1　**サポートソフトの削除** ・・・・・・・ 54

Windows2000でご使用の場合……５７

ステップ1　インストール前の確認 …… 58
ステップ2　インストール …… 59
ステップ3　基本操作について …… 68
ステップ4　ユーティリティを使おう …… 71
補足1　サポートソフトの削除 …… 75

付 録……７７

困った時には …… 78
MacintoshとWindows98で
共通のMOディスクを使おう …… 94
i・CONNECTについて …… 96
RINGOWIN LEについて …… 97
用語解説 …… 98
ハードウェア仕様 …… 99

サポートセンターへのお問い合わせ …… 100
サポートソフトのバージョンアップ …… 101
保証について …… 102
修理について …… 103

はじめに

本製品を使えば — 本製品の使用例を紹介します。(P2)

▼

箱の中には — 箱の中のものを確認します。(P4)

▼

動作環境 — 本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。(P6)

▼

ユーザー登録しよう — ここの説明を読んで、ユーザー登録をしてください。(P7)

▼

取り扱い及び使用上の注意 — 本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。(P8)

▼

各部の名称・機能 — 本製品のスイッチなどの名前と機能を説明します。(P11)

▼

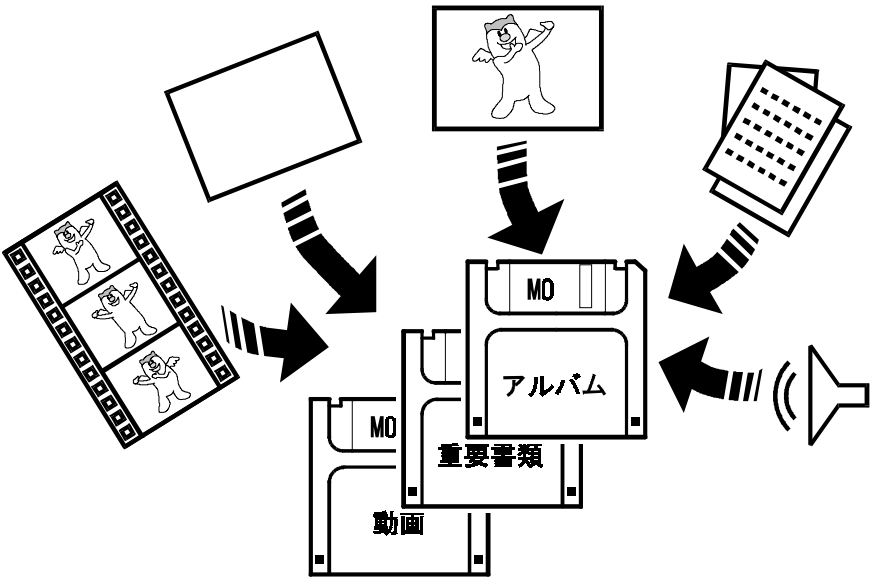
添付品を取り付けよう — 添付品を本製品に取り付ける方法について説明します。(P13)

本製品を使えば

本製品は、以下のようにお使いいただくことができます。

◆ 大事なデータの保存・バックアップに

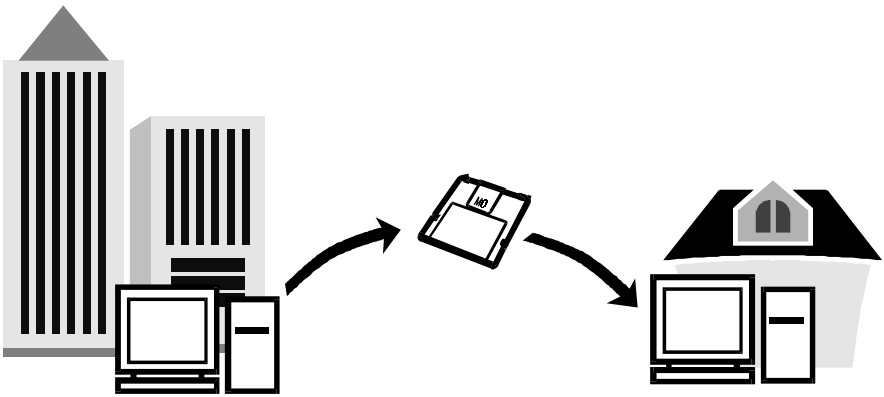
仕事のデータ、デジタルカメラで撮った画像データ、キャプチャした動画などをMOディスクに入れておけば、ハードディスクの容量が少なくなるということがなくなり、誤ってパソコンのデータが消えてしまったときも安心です。
また、ラベルを貼っておけばデータの整理も簡単です。



◆ 大きなデータの持ち運びに

ワープロ等で作った書類データや、デジタルカメラの画像データ等をほかの場所に持っていきたいとき、MOディスクに入れて持ち運べばOK。
フロッピーディスクよりはるかに容量が大きいので安心です。
また、本製品には「RINGOWIN LE」※が添付されています。

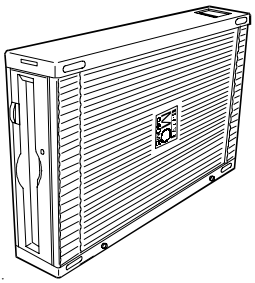
※「RINGOWIN LE」については【RINGOWIN LEについて】(P97)を参照してください。



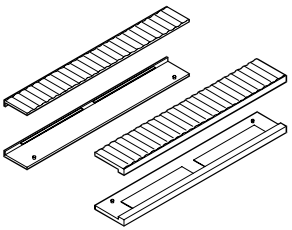
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

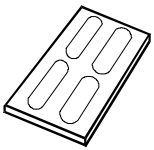
お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。



□ **MOドライブ（1個）**
［MOA-AX/USBシリーズ］



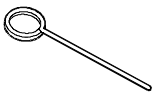
□ **カラーサイドパーツ**
［iMac対応（4個×5種類）または
VAIO対応（4個×1種類）］



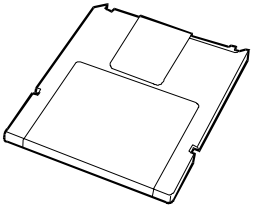
□ **ラバーフット（4個）**
［横置き用］



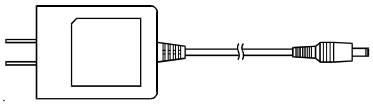
☑ **MOA-AX/USBシリーズ取扱説明書**
（1冊）



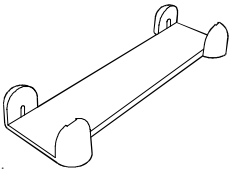
□ **強制イジェクト・ピン（1本）**



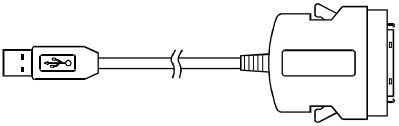
□ **MOディスク（1枚）**
［MOA-AX640S(W)/USB：640MBタイプ
MOA-AX230H(W)/USB：230MBタイプ
（未フォーマット）］



□ **ACアダプタ（1個）**



□ スタンド(１個)
［縦置き用］



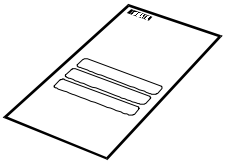
□ USBコンバータケーブル(１本)
［USBコネクタ⇔
アンフェノールハーフピッチ36ピン
（１ｍ）］



□ MOA/USBシリーズ
サポートソフトCD-ROM(１枚)
［ハイブリッド(Macintosh/Windows)］
・USBドライバ
・MO用ソフトウェア
・RINGOWIN LE



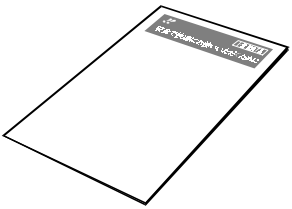
□ ハードウェアシリアルNo.シール
（１枚）



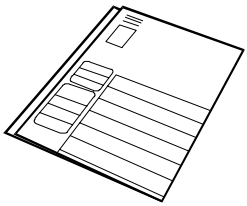
□ Verシール(１枚)



□ ハードウェア保証書(１枚)



□ 『安全で快適にお使いいただく
ために』(１枚)



□ ユーザー登録カード(１枚)

動作環境

対応機種および対応ＯＳ

USBポートとCD-ROMドライブ（インストール時）を搭載した以下の機種が対応機種です。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple iMac※1,2 iBook PowerMacintosh G4 PowerMacintosh G3 (Blue & White) PowerBook G3シリーズ (Bronze keyboard)	Mac OS 8.5.1以降で、 USB Manager1.1※1以降
NEC PC98-NXシリーズ※3 DOS/Vマシン(Pentium75MHz以上)※3,4	Windows 98 （Second Edition含む） Windows 2000

※1 iMacのボンダイブルー（M6709J/A, M6709J/B）で本製品をお使いになる場合は、MacOS 8.5.1以降へのバージョンアップ、および「iMac Firmware Update 1.0」、「iMac Update1.1」が別途必要です。
詳細は、**【ステップ 1】**(P18)をご参照ください。

※2 iMac DVを含む。

※3 弊社製のPCIバス用USBインターフェイスボード「USB-PCI」装着機種でもご使用いただけます。

※4 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

対応MOディスク

128MB,230MB※5,540MB※5,6,640MB※5,6

※5 オーバーライト対応MOディスクを含む

※6 MOA-AX640S(W)/USBのみ対応。

ユーザー登録しよう

ユーザー登録にはオンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。いずれかの方法で登録を行ってください。

1 「Verシール」を所定の位置に貼ります。

添付のVerシールを、ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ユーザー登録を行います。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

●オンライン登録(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキ登録

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

・弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。
・ハガキ登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

取り扱い及び使用上の注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』も併せてご覧ください。また、「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROM内の「README.TXT」（Windowsの場合）もしくは「はじめにお読みください」（Mac OSの場合）を必ずご覧ください。

● 使用する際の注意

・640MBのMOディスクについて（MOA-AX640S(W)/USB）

圧縮ドライブとしては使用できません。

・パソコンの電源を切る場合

パソコン本体の電源を切る場合は、以下のようにしてください。

① 本製品のアクセスランプが点灯・点滅していないことを確認し、MOディスクを取り出します。

② パソコンの電源を切ります。

③ 本製品の電源を切ります。

・「ディスクコピー」はMOディスクに対応していません。

絶対にMOディスクに対して実行しないでください。

・MOディスクの取り出し時

1) パソコンが起動しているときに、本製品をUSBコネクタから取り外す際は、必ずMOディスクを取り出してから行ってください。

2) MOディスクへアクセス中は絶対に「取り出し」ボタンを押さないでください。記録されたファイルのリードライトができなくなったり、MOディスクが傷つき、使用不可能になる場合があります。

・定期的にバックアップしてください。

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によってファイルが破壊された場合、復旧することができません。
大切なファイルはあらかじめバックアップする様にしてください。

・USBコンバータケーブルは本製品以外に使わないでください。

・MOディスクの挿入時

MOディスクの金属シャッター部分を持たないでください。静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となることがあります。

・本製品にアクセスする際は、なるべく他のUSB機器を動作させないでください。

本製品にアクセスする際に、他のUSB機器を動作させると速度が遅くなったりシステムが停止する場合があります。

・パソコンをスタンバイモードにする際は

必ず本製品を取り外した後で、スタンバイモードにしてください。

・スタンバイから復帰すると本製品が認識されていない場合は

本製品を抜き、再び接続してください。

・USBハブに本製品を接続すると正常に動作しなくなる場合は

USBハブではなく、パソコンのUSBポートに接続してください。

●取り扱い上の注意

・ 本製品の取り扱いについて

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露することがあります。そのまま使用すると誤動作や故障の原因となりますので、時間をおき、結露がなくなってから使用してください。

・本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

・本製品は書き込み時、かなり高温になります。そのため、長時間にわたってMOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、ドライブの安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。このような場合は、一旦システムを終了してパソコン本体の電源を切り、ドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

・空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、性能が低下することがあります。製品の性能を維持するために下記のクリーニングキットを別途お買い求めの上、3ヶ月に1度を目安にクリーニングを行ってください。

富士通製　「光磁気ディスククリーニングカートリッジ」

（商品番号 0240470）

・ MOディスクの取り扱いについて

・MOディスクのシャッターを開けて、内部に直接ふれないでください。

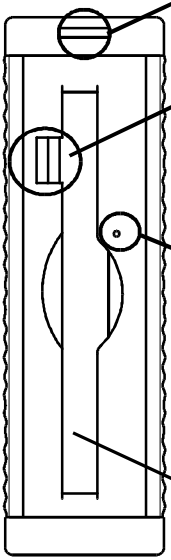
・MOディスクのシャッター部に、ラベルを貼らないでください。

●本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。

【修理について】(P103)参照。

各部の名称・機能

● **前面**



電源ランプ
電源投入時に緑色で点灯します。

アクセスランプ、イジェクトボタン
アクセス中は緑色に点灯します。
これを押すと、Macintoshでお使いの場合を除いてMOディスクが排出されます。
ただし、点灯中は絶対に押さないでください。

強制イジェクトホール
MOディスクを強制的に排出するときに使います。
通常は使用しないでください。
参照「MOディスクが取り出せない」(P80)

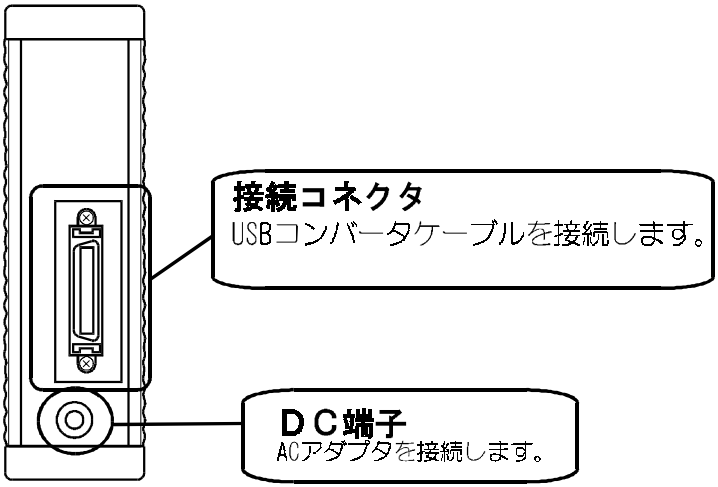
MOディスク挿入口
MOディスクを挿入するところです。

● **上面（横置き使用時は側面）**



電源スイッチ
本製品の電源を入れます。

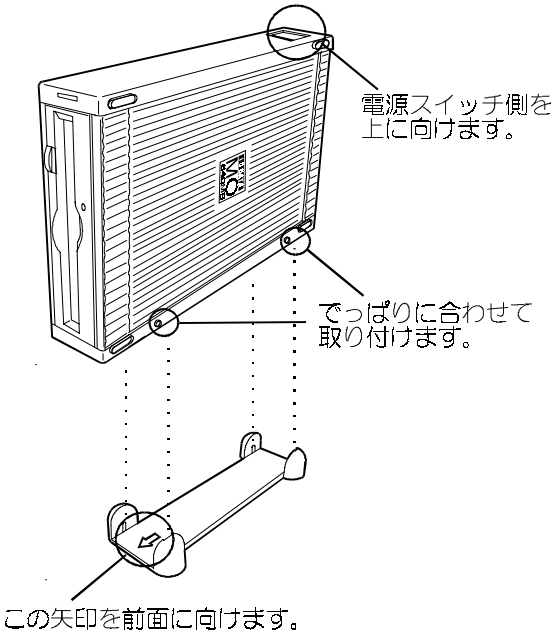
● **背面**



添付品を取り付けよう

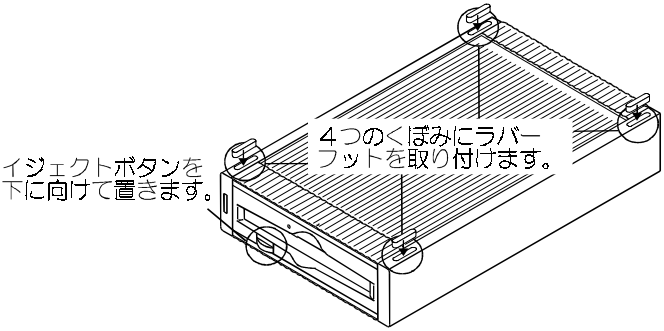
ここでは、本製品に取り付け可能な添付品（スタンド、ラバーフット、サイドパーツ）の取り付けについて説明します。

● スタンドを取り付ける（縦置きで使う）



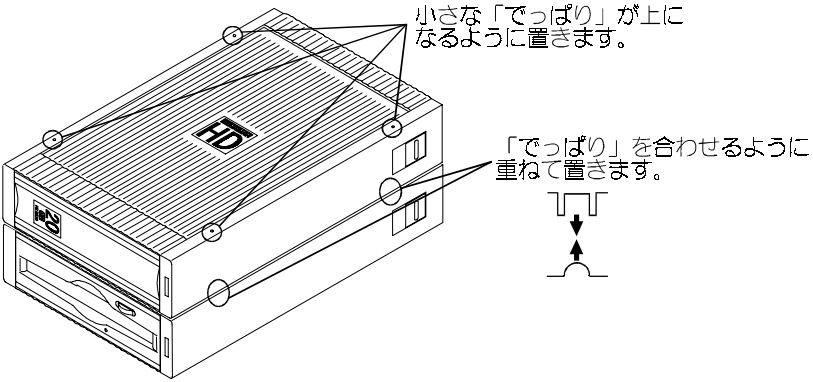
● ラバーフットを取り付ける（横置きで重ねないで使う）

本製品を他のMOAシリーズやHDA-iシリーズの上に重ねて使用する場合は、ラバーフットは取り付けないでください。



ラバーフットを取り付けた後は、イジェクトボタンが上になるように置いて使用してください。

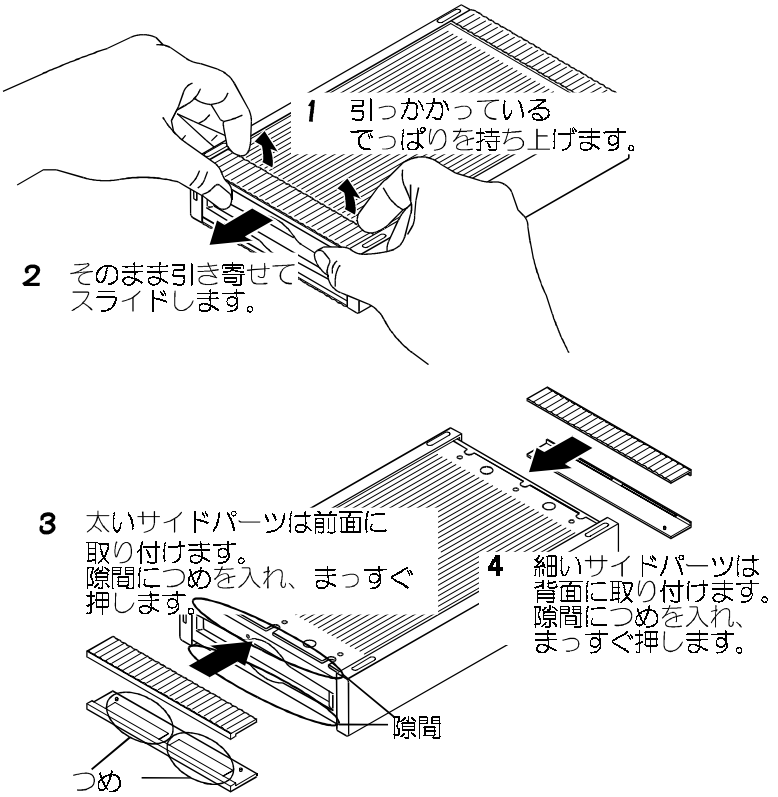
● 横置きで重ねて使う



・本製品以外のMOAシリーズおよびHDA-iシリーズにも重ねることができます。
・ストーブなどの発熱体から離れた場所に設置してください。
・積み重ねられるドライブは２台までです。
・本製品を一番下に置く場合は、ラバーフットを取り付けてください。

● 他の色のサイドパーツに交換する

お使いのパソコンや周辺機器の色に合わせて取り替えてみてはいかがでしょうか。



MEMO

Macintoshでご使用の場合

ここではMacintoshで使用する際の設定について説明します。

ステップ1

iMac（ボンダイブルー）ではバージョンアップが必要

iMac（ボンダイブルー）でお使いになるのに必要な説明をします。（P18）

▼

ステップ2

ドライバソフトのインストール

本製品を使えるようにするドライバをインストールする手順について説明をします。（P25）

▼

ステップ3

取り付けよう

本製品をUSBポートに取り付ける手順について説明します。（P26）

▼

ステップ4

一部のiMacでの注意事項

iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー（M7469J/A）を使う際の注意事項について説明します。（P31）

▼

ステップ5

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。（P33）

ステップ1 iMac（ボンダイブルー）ではバージョンアップが必要

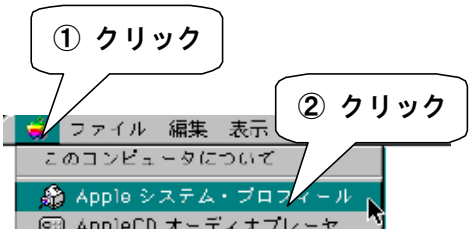
iMac（ボンダイブルー）以外の機種をお使いの場合	ここを読み飛ばして、【ステップ2】(P25)へお進みください。

本製品をiMac（ボンダイブルー）でご使用の場合は、USB Managerを1.1にバージョンアップしないと使用できません。
以下の手順でバージョンを確認後、必要な場合は、バージョンアップを行ってください。

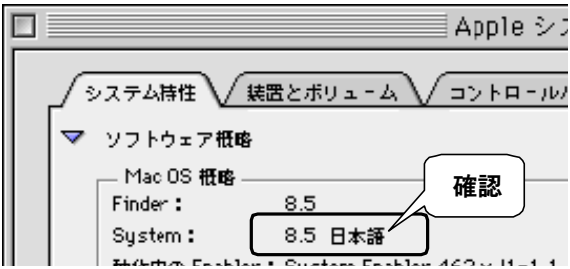
バージョンを確認する

1 ［Appleシステム・プロフィール］を選択します。

［Apple］メニューをクリックします。開いたメニューの中に表示された［Appleシステム・プロフィール］をクリックします。



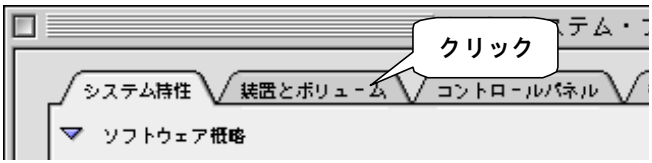
2 Mac OSのバージョンを確認します。



Mac OSのバージョンが…

8.5.1未満の場合	Mac OSをバージョンアップしてください。その後、そのバージョンに対応したところをお読みください。
8.5.1の場合	手順3へお進みください。
8.6以上の場合	これ以上の作業は必要ありません。 【ステップ2】(P25)へお進みください。

3 ［装置とボリューム］タブをクリックします。



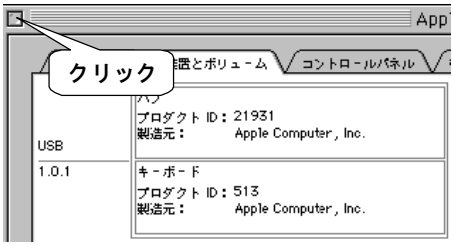
4 USB Managerのバージョンを確認します。

以下の画面の太線で囲まれた部分がUSB Managerのバージョンです。



5 「Appleシステム・プロフィール」を閉じます。

左上の［クローズボックス］をクリックします。



USB Managerのバージョンが…・

バージョンが1.0.1の場合 → **次ページの【アップデートする】へお進みください。**

バージョンが1.1以降の場合 → **アップデートの必要はありません。【ステップ2】(P25)へお進みください。**

アップデートする（USB Managerを1.1にする）

本手順は参考例です。iMac（ボンダイブルー）のアップデートに関する詳細はアップルコンピュータ株式会社ホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧になるか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

必要なファイルを手に入れよう

1 必要なファイルを手に入れます。

「iMac Update 1.1」および「iMac Firmware Update」を手に入れていただく必要があります。
アップルコンピュータ社のホームページ(http://www.apple.co.jp/)よりダウンロードするか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

「iMac Firmware Update」をしよう

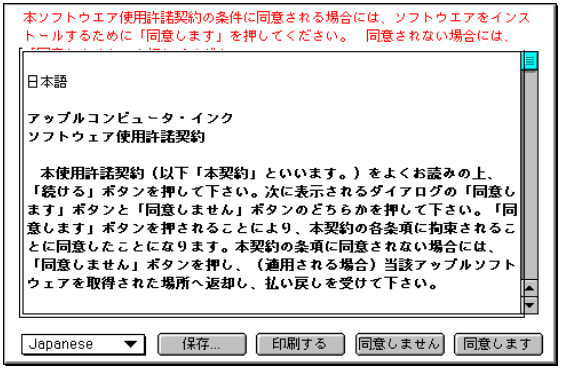
2 「iMac Firmware Update-J.smi」をダブルクリックします。

1 で手に入れた「iMac Firmware Update-J.smi」をダブルクリックします。



3 同意書を確認し、［同意します］をクリックします。

⇒デスクトップ上に［iMac Firmware Update 1.0］アイコンが現れます。



4 ［iMac Firmware Update 1.0］アイコンを実行します。

デスクトップ上の［iMac Firmware Update 1.0］アイコンをダブルクリックします。



5 ［iMac Firmware Updateについて］アイコンを実行します。

［iMac Firmware Update 1.0］内の［iMac Firmware Updateについて］アイコンをダブルクリックします。

6 後は、「iMac Firmware Updateについて」の手順にしたがってください。

「iMac Update」をしよう

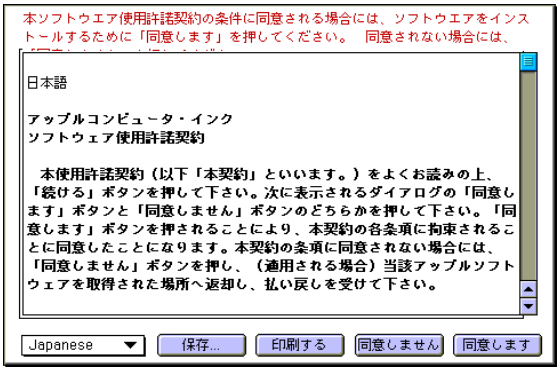
7 「iMac Update-J1.1.smi」をダブルクリックします。

1 で手に入れた「iMac Update-J1.1.smi」をダブルクリックします。



8 同意書を確認し、［同意します］をクリックします。

⇒デスクトップ上に［iMac Update 1.1］アイコンが現れます。



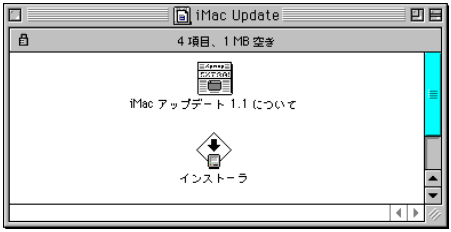
9 ［iMac Update］アイコンを実行します。

デスクトップ上の［iMac Update］アイコンをダブルクリックします。



10 **[iMac アップデート1.1について]アイコンを実行します。**

［iMac Update］内の［iMac アップデート1.1について］アイコンをダブルクリックします。



11 **後は、[iMac アップデート1.1について]の手順にしたがってください。**

以上で、USBマネージャはバージョン1.1にアップデートされました。

ステップ２

ドライバソフトの インストール

本製品を使用するには、ドライバソフトのインストールが必要です。
必ず本製品をUSBポートに接続する前に行ってください。
※インストールを行う前に、起動しているプログラムを全て終了してください。

1 「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。

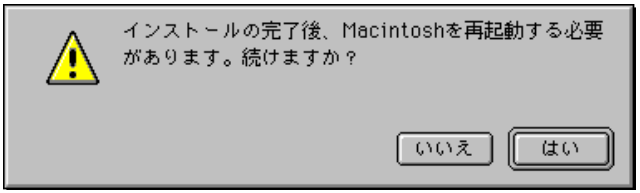
2 「Install USB-IDE Drivers」をダブルクリックします。

自動で開いたウィンドウ内にある「Install USB-IDE Drivers」をダブルクリックします。

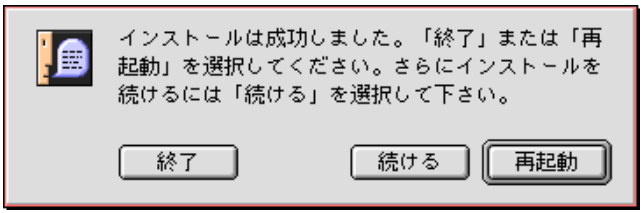


3 ［はい］をクリックします。

⇒必要なファイルがインストールされます。



4 ［再起動］をクリックして、パソコンを再起動します。



再起動後、ドライバは有効になります。
次ページ【ステップ３】へお進みください。

ステップ3

取り付けよう

ここでは、本製品を取り付ける方法を説明します。

用意するもの

- **本製品**
- **本製品添付のUSBコンバータケーブル**
- **本製品添付のACアダプタ**

取り付け手順

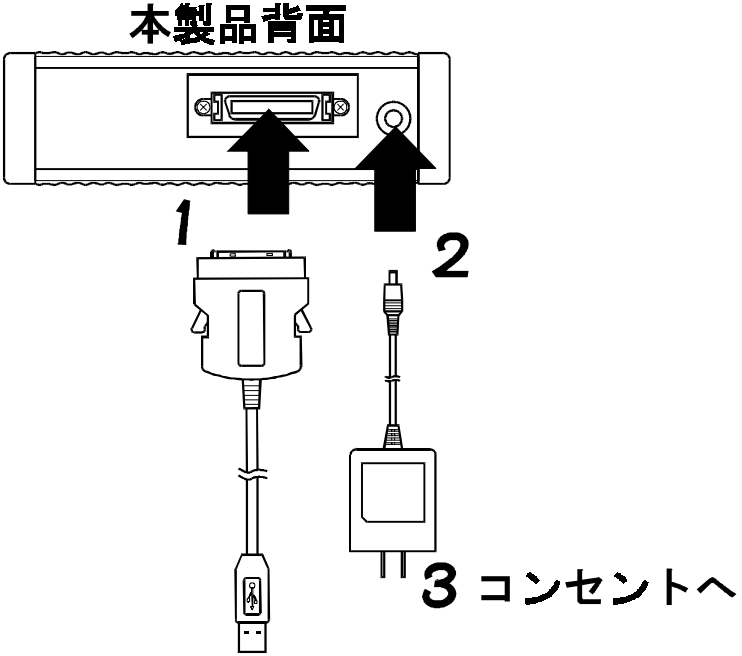
1 USBコンバータケーブルを本製品に接続します。

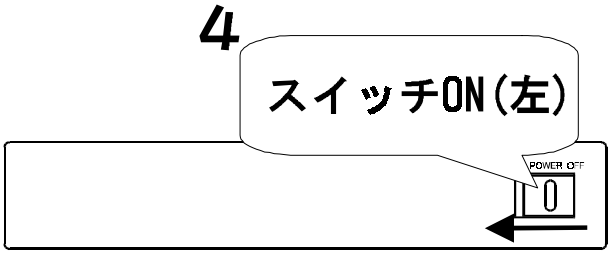
USBコンバータケーブルを本製品にまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

2 付属のACアダプタを本製品に接続します。

3 ACアダプタをAC100V電源コンセントに接続します。

4 本製品の電源をONにします。





本製品上面（横置きの場合、側面）

必ず本製品の電源を入れた後で、パソコンのUSBポートに接続してください。

5 USBコンバータケーブルをUSBポートに接続します。

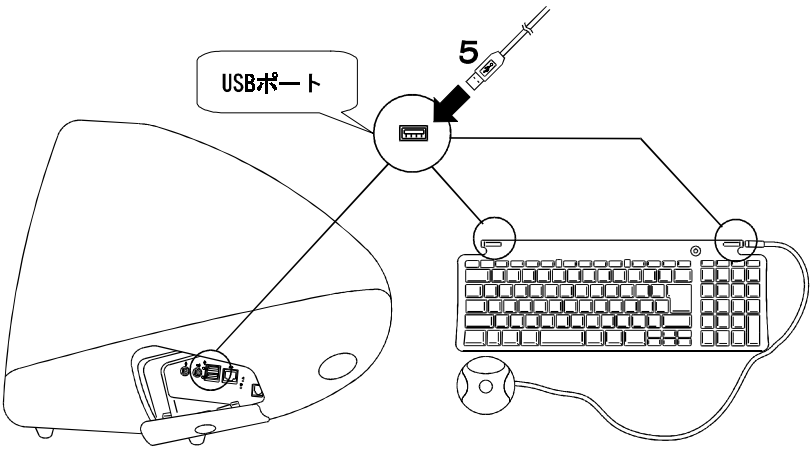
手順1で接続したUSBコンバータケーブルのもう一方を、USBポートにまっすぐに差し込みます。

USBポートの場所については、次ページ以降の図を参考にしてください。

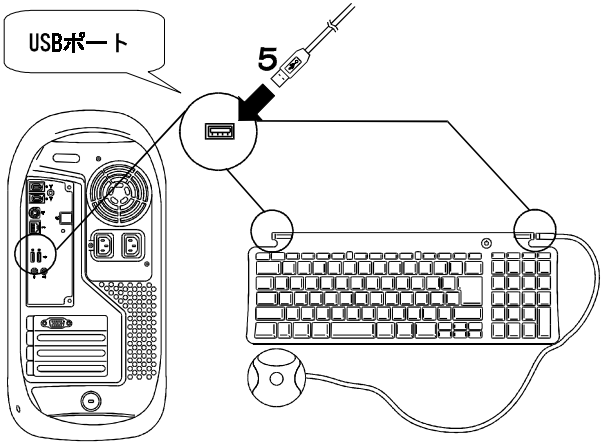
本製品の電源を投入したり、USBポートから本製品を取り外したときに、アクセスランプが点灯したままになることがありますが、異常ではありません。Macintoshが起動し、ドライバが有効になると点灯しているアクセスランプは消えます。

【ステップ4】(P31)へお進みください。

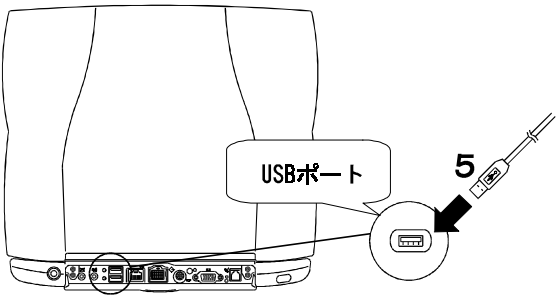
iMacに接続する場合



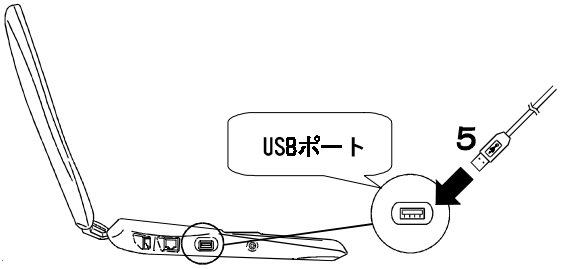
PowerMacintosh G4、およびPowerMacintosh G3(Blue and White)に接続する場合



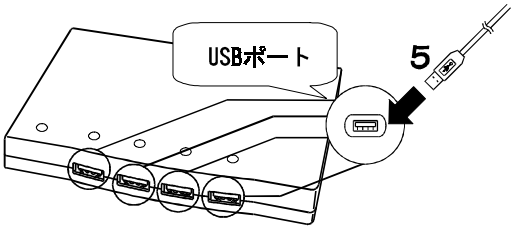
PowerBook G3シリーズ(Bronze Keyboard)に接続する場合



iBookシリーズに接続する場合



USBハブ（弊社製USB-HB4シリーズなど）に接続する場合



ステップ4　一部のiMacでの注意事項

ここでは、iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)を使う際の注意事項について説明します。

「iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)」以外の機種をお使いの場合は、本ステップは読み飛ばして、【ステップ5】(P33)にお進みください。

iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)をお使いの場合は、本製品をご利用の際にはスリープしないようにしてください。
スリープにした場合、以下のような現象が起こる場合があります。

・本体の電源ランプはグリーンに戻っているが、画面に何も映らない。
・画面は映るが、戻り切らずに動かなくなる。

［自動でスリープにしない設定］

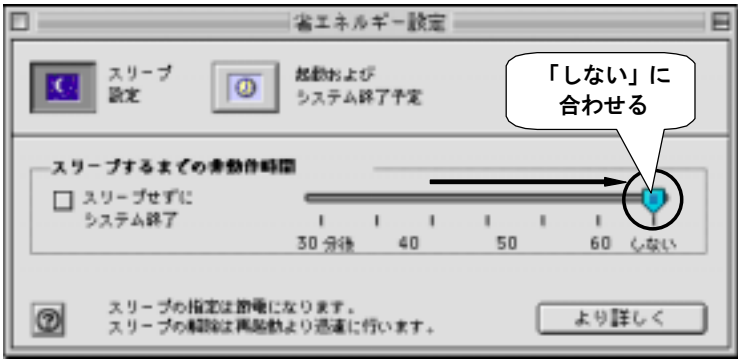
以下の設定を行い、自動でスリープにならないようにしてください。

1　［省エネルギー設定］を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［省エネルギー設定］をクリックします。

2　「スリープするまでの非動作時間」を「しない」にします。

スリープを設定するスライダーを「しない」にします。
⇒これで、自動的にスリープすることはなくなります。



[手動でスリープにしない]

本製品をご使用の際は、以下の点にご注意ください。

- **「Finder」メニューの[特別]→[スリープ]の手順を行わない。**
  この操作によってスリープしないでください。

[スリープから戻らなくなった場合の対処方法]

スリープから戻らなくなった場合は、以下のようにしてください。

本体側の電源ボタンを５秒間押しつづけて、本体の電源が落ちることを確認してください。その後、キーボードのパワーキーから起動してください。

ステップ5　基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

パソコンの電源を切る前に、必ずMOディスクを本製品から取り出してください。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【ステップ**3**】(P26)をご覧ください。

PowerBook G3シリーズ(Bronze Keyboard)をお使いの場合は、パソコンが起動してから本製品をUSBポートに接続してご使用ください。本製品をUSBポートに接続した状態では、OSの起動やスリープからの復帰ができない場合があります。

本製品をUSBポートから取り外す

1　本製品よりMOディスクを取り出します。

MOディスクを取り出す方法は次ページの【MOディスクを取り出す】をご覧ください。

1)USBポートからUSBコンバータケーブルを抜く前に、必ずMOディスクを取り出してください。
MOディスクを取り出していない場合、システムが不安定になったり、MOディスクのデータが壊れてしまう場合があります。
2)MOディスク内にあるファイルをアプリケーションなどで開いている場合は、必ず全て閉じてください。

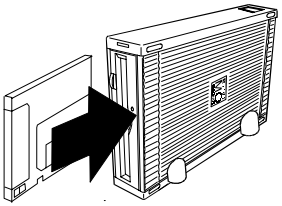
2　USBコンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

1)本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBコンバータケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。
2)必ずUSBコンバータケーブルはパソコン本体側から先に抜いてください。
USBコンバータケーブルを本製品から抜く前に、本製品の電源を切ってください。

MOディスクを挿入する

1 **MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに入れ、カチッと音がするまで押し込みます。**

2 **アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。**



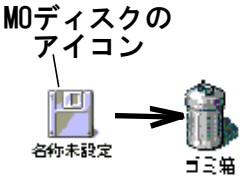
MOディスクを取り出す

Macintoshでは、イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 **本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。**

2 **MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。**

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない → 【MOディスクを取り出せない】(P80)をご覧ください。

MOディスクを初期化する

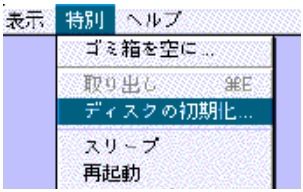
1)ここでは、MacintoshのみでMOディスクを使用する場合の初期化について説明しています。Windows98マシンとのデータ交換のための初期化（フォーマット）方法については【MacintoshとWindows98で共通のMOディスクを使おう】(P94)をご覧ください。
2)MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合、そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただしSCSI MOドライブをお持ちの場合は、そちらで不良セクタのあるMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。
3)B'sCrew等のフォーマッタソフトは、SCSIまたはATAPI（SCSIエミュレーション）の機器に対してのみ有効です。USB機器である本製品では使用できません。（ただし、フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無くご使用いただけます）

1 本製品にMOディスクを挿入します。

いきなり初期化の画面になることがあります。
その場合は手順２を飛ばして手順３にお進みください。

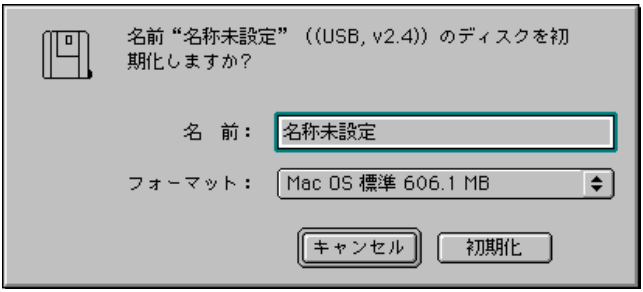
2 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク（装置）の初期化］をクリックします。



3 初期化を行います。

フォーマットにはMac OS標準を選ぶことをお勧めします。



1)DOS形式を選択して初期化することはお奨めいたしません。
DOS形式でフォーマットしたい場合は、Windowsマシンで行ってください。
MacOS上でDOS形式を選択し初期化した場合、DOS(FDISK)フォーマットになります。

2)FDISKフォーマットの場合は、DOS形式フォーマットのみ選択可能です。
FDISKフォーマットのMOディスクの場合、MacintoshおよびWindows98のどちらで初期化（フォーマット）してもFDISKフォーマットとなります。

3)初期化などの際に「名前」の他にドライバ名とバージョンなどが入ることがありますが、問題ありません。



4)本製品で初期化したMOディスクは、漢字TalkおよびMac OS上で有効な他のMOドライブでもお使いいただけます。ただし、本製品で初期化したMOディスクからはOSを起動できません。

初期化できない → **【困った時には】内の【MOディスクを初期化できない】(P82)をご覧ください。**

Windows98でご使用の場合

ここではWindows98で使用する際の設定について説明します。

ステップ1

インストール前の確認

本製品をインストールする前の確認作業について説明します。(P38)

▼

ステップ2

インストール

本製品を使えるようにする手順について説明をします。(P39)

▼

ステップ3

パフォーマンスを最適化させる

本製品を最適に使えるように設定する方法を説明します。(P48)

▼

ステップ4

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。(P49)

補足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(P54)

ステップ1　インストール前の確認

ここではインストール前の確認作業について説明しています。

すでに弊社製ドライブをお使いの方は
すでに弊社製MOドライブ(MOP-230を除く)をお使いの場合は、ドライバを削除してください。
ドライバを削除しても、本製品のドライバのインストールが終われば、問題なくお使いいただけます。
MOドライブの情報の削除方法については、各取扱説明書をご覧ください。

CD-ROMドライブの確認

本製品をインストールする際には、使用するCD-ROMドライブを特定する必要があります。

1　［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

2　「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。

3　「Moausb_1XX」と表示されることを確認します。

XXには数字が入ります。このアイコンのドライブ名を確認します。



ステップ2　インストール

用意するもの
- **本製品**
- **添付のUSBコンバータケーブル**
- **添付のACアダプタ**
- **添付の「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROM**

1 Windows98を起動します。

取り付け手順

ここでは本製品とUSBコンバータケーブルの接続およびパソコン（USBポート）への接続について説明します。

2 USBコンバータケーブルを本製品に接続します。

USBコンバータケーブルを本製品にまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

3 ACアダプタを本製品に接続します。

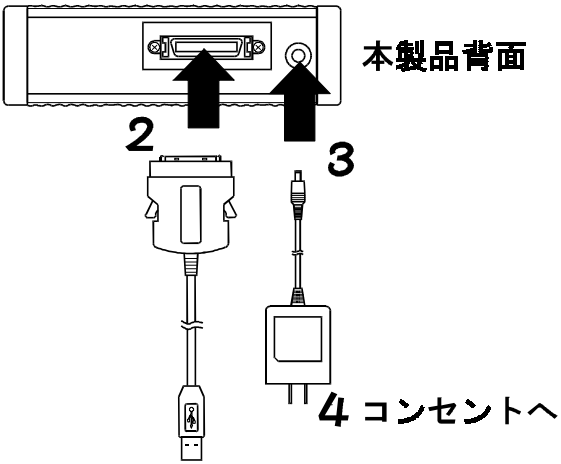
4 ACアダプタをAC100V電源コンセントに接続します。

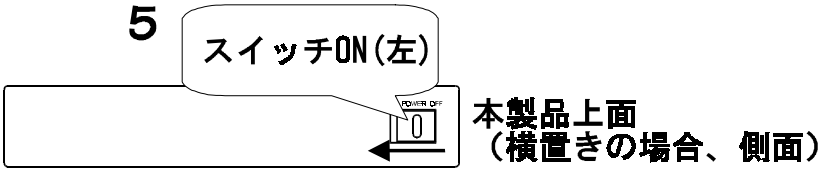
5 本製品の電源を入れます。

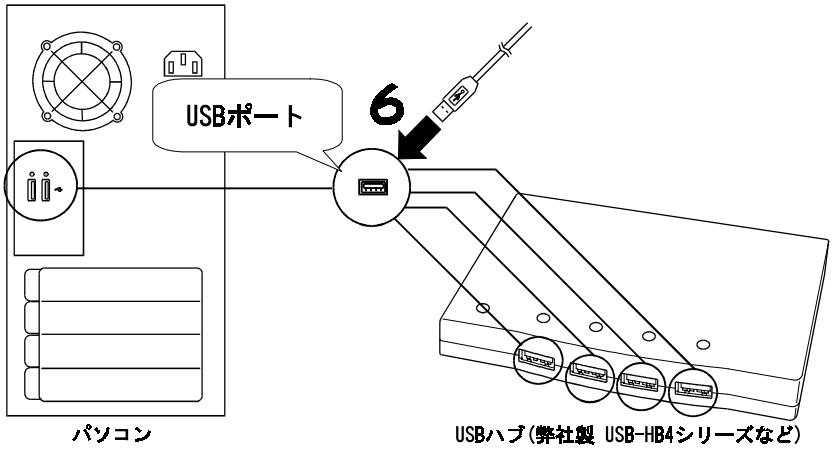
必ず本製品の電源を入れた後で、USBポートに接続してください。

6 USBコンバータケーブルをUSBポートに接続します。

手順2で接続したUSBコンバータケーブルのもう一方を、USBポートにまっすぐに差し込みます。


本製品背面
2
3
4 コンセントへ

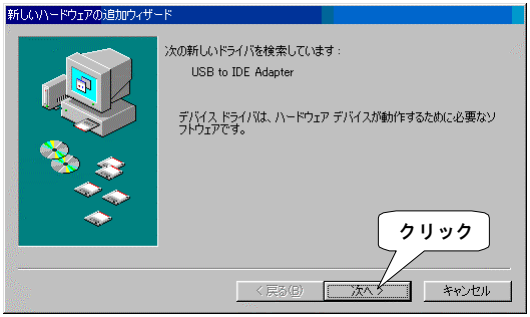

5
スイッチON(左)
POWER OFF
本製品上面
（横置きの場合、側面）


USBポート
6
パソコン
USBハブ(弊社製 USB-HB4シリーズなど)

本製品を認識させる

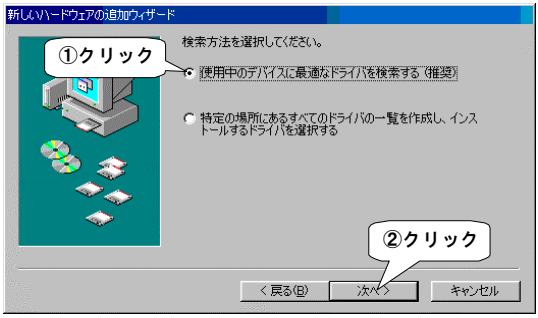
ここでは本製品をWindows98上で認識させるために、ドライバをインストールします。

7 **以下が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。**



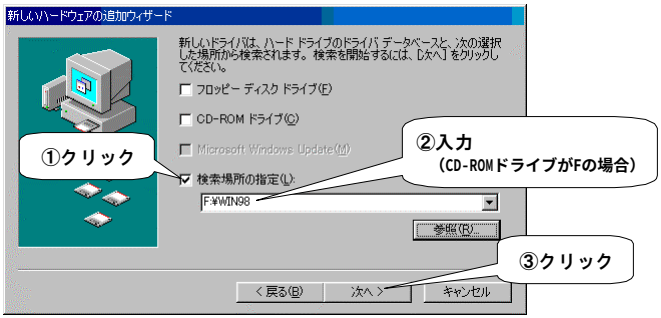
表示されない → **【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(P81)をご覧ください。**

8 **［使用中のデバイスに……］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**



9 **「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。**

10 「検索場所の指定」のみにチェックし、CD-ROMドライブのWIN98フォルダを入力後、［次へ］ボタンをクリックします。



CD-ROMドライブが何ドライブか分からない → ［キャンセル］ボタンをクリックし、【CD-ROMドライブの確認】(P38)をご覧ください。確認が終わったら、USBコンバータケーブルを一度抜き、接続してください。

11 ［次へ］ボタンをクリックします。

12 ［完了］をクリックします。

［完了］ボタンをクリックすると再起動される → 【インストールが途中で終わってしまった】(P89)をご覧ください。

今までの設定の確認①

ここでは本製品のドライバが正しくインストールされているかどうか確認します。

13 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

14 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

15 ［種類別に表示］をクリックします。

16 ［USB Storage Adapter］を確認します。

①［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックします。

②その下の［USB Storage Adapter］を確認します。



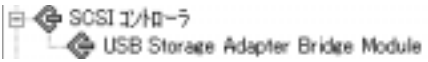
［USB Storage Adapter］に［！］が付いている

→ 【・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙ ﾃﾞｨｽｸ」アイコンがない ・ドライバに「！」マークが付いている】(P85)をご覧ください。

17 ［USB Storage Adapter Bridge Module］を確認します。

①［SCSIコントローラ］をダブルクリックします。

②その下の［USB Storage Adapter Bridge Module］を確認します。



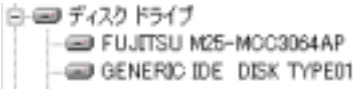
［USB Storage Adapter Bridge Module］に［！］が付いている

→ 【・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙ ﾃﾞｨｽｸ」アイコンがない ・ドライバに「！」マークが付いている】(P85)をご覧ください。

18 本製品を確認します。

①［ディスクドライブ］をダブルクリックします。

②その下の［FUJITSU ・・・・・・・・・・］を確認します。



ここで表示される［FUJITSU ・・・・・・・・・・］は
MOA-AX640S(W) : FUJITSU M25-MCC3064AP または FUJITSU MCF3064AP
MOA-AX230H(W) : FUJITSU MCB3023AP

［FUJITSU ・・・・・・・］がない → **【・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙ ﾃﾞｨｽｸ」アイコンがない ・ドライバに「！」マークが付いている】(P85)をご覧ください。**

本製品を使えるようにする

ここでは本製品をWindows98上でMOドライブとして使うために、ドライバをインストールします。

19 「Setup」を実行します。

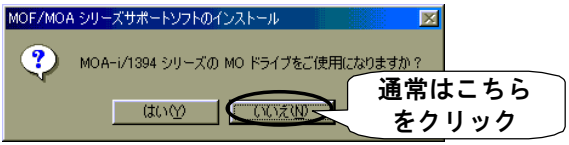
［マイコンピュータ］→［Moausb_1xx］→［Mofmoa］→［Setup］の順にダブルクリックします。



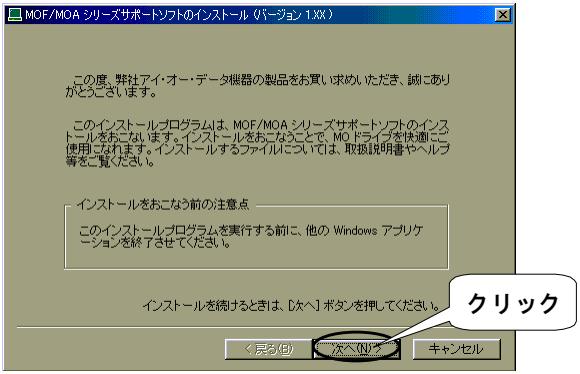
20 Windows 98 SEをお使いの場合、下の画面が表示されます。

すでに弊社製「MOA-i/1394シリーズ」をお使いの場合は、［はい］ボタンをクリックします。

それ以外の場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。

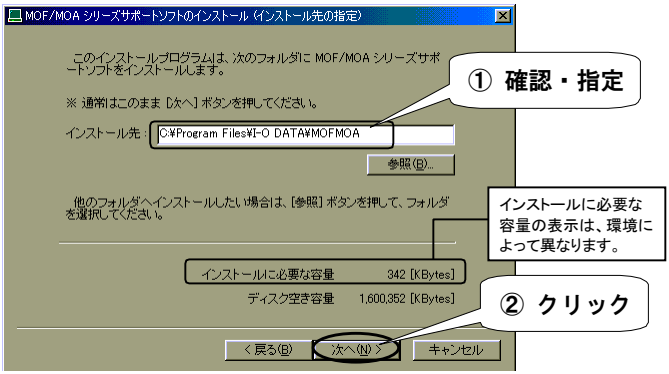


21 ［次へ］ボタンをクリックします。



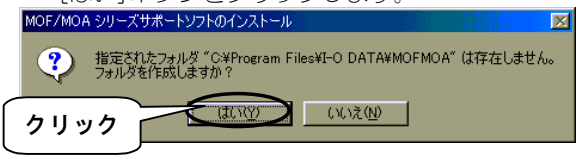
22 インストールするフォルダ名を指定します。

変更しない場合はそのまま[次へ]ボタンをクリックします。

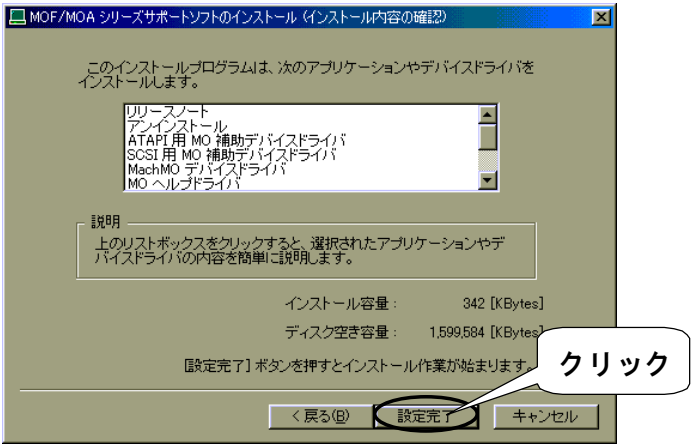


23 **手順22 で指定したフォルダがない場合は作成します。**

[はい]ボタンをクリックします。



24 **［設定完了］ボタンをクリックします。**



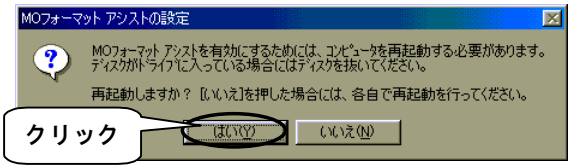
上のリスト内のインストールされる項目を選択すると、下の説明ボックス内に選択した項目の説明が表示されます。

25 **［完了］ボタンをクリックします。**

26 **「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを取り出します。**

27 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒パソコンを再起動します。



今までの設定の確認②

28 ［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、確認します。



［リムーバブルディスク］アイコンがない

【・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙ ﾃﾞｨｽｸ」アイコンがない
・ドライバに「！」マークが付いている】(P85)をご覧ください。

29 右クリックメニュー内の「MOフォーマット」を確認します。

［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックして、表示されるメニューの中に「MOフォーマット」が表示されることを確認します。



［MOフォーマット］が表示されない

【・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙ ﾃﾞｨｽｸ」アイコンがない
・ドライバに「！」マークが付いている】(P85)をご覧ください。

以上でインストールは終了です。

ステップ3

パフォーマンスを最適化させる

Windows98で、本製品のパフォーマンスを最適化させるには、以下の設定をする必要があります。

1 **［システムのプロパティ］を起動します。**

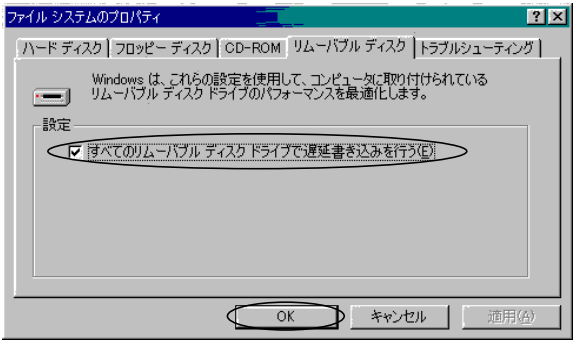
［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 **［パフォーマンス］タブをクリックします。**

3 **［ファイルシステム］ボタンをクリックします。**

4 **［リムーバブルディスク］タブをクリックします。**

5 **［すべてのリムーバブル……］をチェックします。**



尚、この設定を行いますと、画面上で書き込みが終了していても実際の書き込み作業が行われている場合があります。

MOディスクを取り出す際は、アクセスランプが点灯していないか充分確認してから行ってください。

ステップ4

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

Windows98を起動／終了する前に、必ずMOディスクを取り出してください。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【取り付け手順】(P39)をご覧ください。

必ず、本製品の電源を入れた後で、本製品をパソコンに接続してください。

本製品をUSBポートから取り外す

1 本製品よりMOディスクを取り出します。

MOディスクを取り出す方法は次ページの【MOディスクを取り出す】をご覧ください。

USBポートからUSBコンバータケーブルを抜く前に、必ずMOディスクを取り出してください。
MOディスクを挿入しているとき、もしくはリード／ライト中にUSBコンバータケーブルを抜いた場合、システムが不安定になったり、MOディスクのデータが破損する場合があります。

2 USBコンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

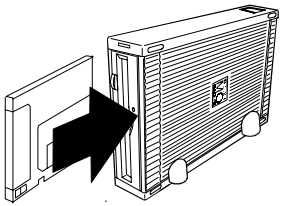
1)本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBコンバータケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。
2)必ずUSBコンバータケーブルはパソコン本体側から先に抜いてください。
USBコンバータケーブルをパソコン本体側から抜く前に、本製品から抜かないでください。
USBコンバータケーブルを本製品から抜く前に、本製品の電源を切ってください。

MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに入れ、カチッと音がするまで押し込みます。

2 アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。



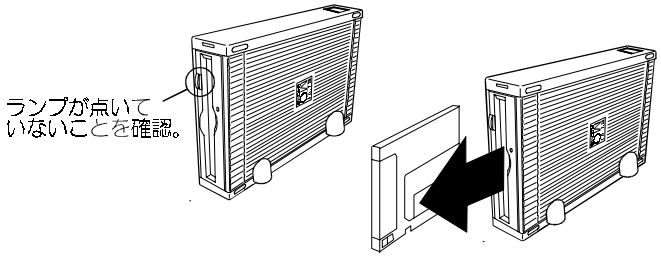
MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない → **【困った時には】内の【MOディスクを取り出せない】(P80)をご覧ください。**

MOディスクをフォーマットする

1)ここでは、Windows98のみでMOディスクを使用する場合のフォーマットについて説明しています。Macintoshとデータ交換するためのフォーマットについては【MacintoshとWindows98で共通のMOディスクを使おう】(P94)をご覧ください。
2)使用しているMOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合、そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただしSCSI MOドライブをお持ちの場合は、そちらでそのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。
3)本製品でフォーマットしたMOディスクは、Windowsに認識されている他のMOドライブでもお使いいただけます。

フォーマット方法１

1　MOディスクを本製品に挿入します。

アクセスランプが一度点灯して、消えることを確認してください。

2　右クリックメニューの「MOフォーマット」をクリックします。

「マイコンピュータ」内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された「MOフォーマット」をクリックします。

※「MOフォーマット」と「フォーマット」が同時に表示される場合がありますが、問題ありません。

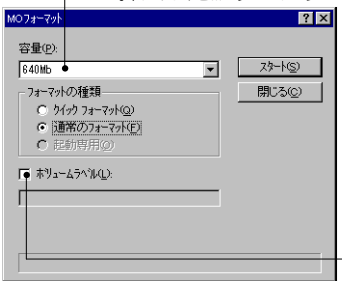


［MOフォーマット］が表示されない

【・『マイコンピュータ』の中に「リムーバブルディスク」アイコンがない
・ドライバに「！」マークが付いている】(P85)をご覧ください。

3 フォーマットの種類を選び、[開始]ボタンを押します。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



・クイックフォーマット（通常のフォーマットより早い）
一度フォーマットしたことのあるMOディスクに行えます。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、この種類では
フォーマットを行わないでください。

・通常のフォーマット
購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に使います。

・起動専用
選択しないでください。
本製品（挿入したMOディスク）から起動することはできません。

4 フォーマット後、［閉じる］をクリックします。

フォーマットが終了すると、フォーマット結果が表示されます。
確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンを押します。

以上でフォーマットは完了です。

**フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることを
お勧めします。**

フォーマット方法２

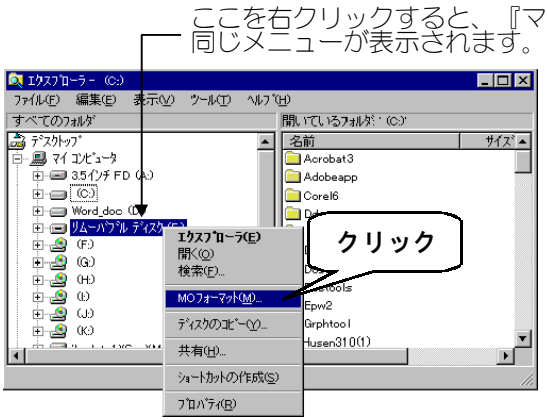
MOディスクのフォーマットは『エクスプローラ』でも行うことができます。

1 『エクスプローラ』を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［エクスプローラ］の順にクリックします。

2 右クリックメニューの［MOフォーマット］をクリックします。

以後は、《フォーマット方法１》の手順 **3** 以降と同様です。



1)『エクスプローラ』で、MOディスクの内容を表示中はフォーマットできません。他のドライブの内容を表示させて、『リムーバブルディスク』を右クリックしてください。

2)フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをお勧めします。

補足1　サポートソフトの削除

本製品を使わなくなったり、本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

MOドライブの情報を削除する

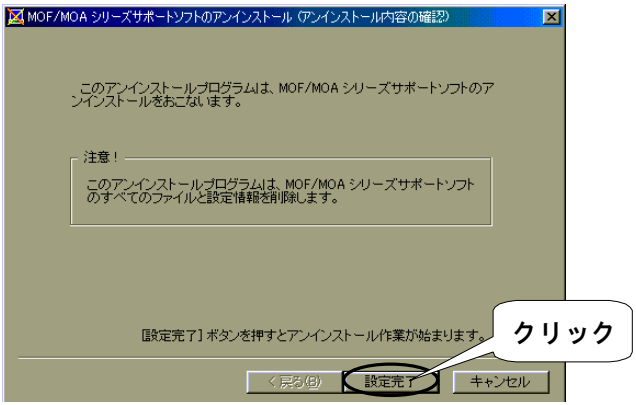
1　**『ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの追加と削除』を起動します。**

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの追加と削除』を起動します。

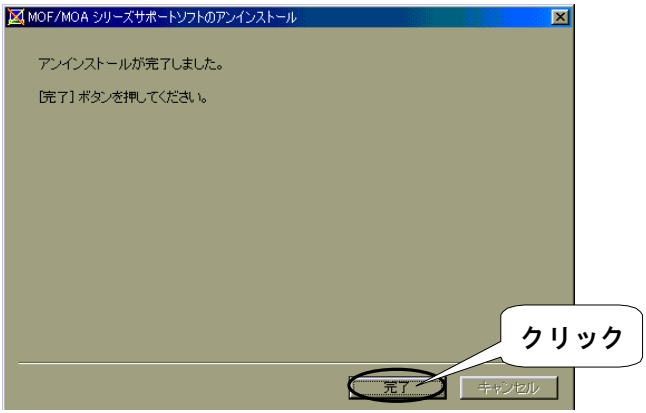
2　**「MOF/MOAシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。**



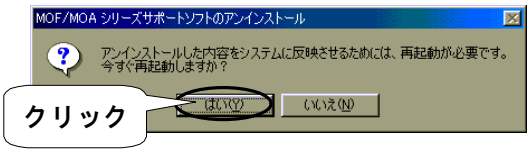
3　［設定完了］ボタンをクリックします。



4　［完了］ボタンをクリックします。



5　［はい］ボタンをクリックします。



USBコンバータケーブルの情報を削除する

1 **『ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの追加と削除』を起動します。**

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの追加と削除』を起動します。

2 **「USB Storage Adapter」をダブルクリックします。**



3 **後は、画面の指示にしたがってください。**

Windows2000でご使用の場合

ここではWindows2000で使用する際の設定について説明します。

ステップ1

インストール前の確認

本製品をインストールする前の確認作業について説明します。(P58)

▼

ステップ2

インストール

本製品を使えるようにする手順について説明します。(P59)

▼

ステップ3

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明します。(P68)

▼

ステップ4

ユーティリティを使おう

インストールしたユーティリティを使う方法について説明します。(P71)

補足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(P75)

ステップ1 インストール前の確認

ここではインストール前の確認作業について説明しています。

Windows 2000にアップグレードする場合

Windows 98からWindows 2000へアップグレードしてお使いになる場合は、アップグレードをする前にMOドライブの情報を削除してください。詳細は、【サポートソフトの削除】(P54)をご覧ください。

MOディスクを使う前に

Windows 2000でMOドライブをご利用になる場合は、ユーティリティソフトをインストールしてからご使用ください。

また、MOディスクのフォーマットは、「MOディスクフォーマッタ」をお使いになり、MOドライブのアイコンを右クリックしての「フォーマット」は行わないでください。

ステップ2　インストール

用意するもの
- **本製品**
- **添付のUSBコンバータケーブル**
- **添付のACアダプタ**
- **添付の「MOA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROM**

1 Windows 2000にAdministrator権限でログインします。

取り付け手順

ここでは本製品とUSBコンバータケーブルの接続およびパソコン（USBポート）への接続について説明します。

2 USBコンバータケーブルを本製品に接続します。

USBコンバータケーブルを本製品にまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

3 ACアダプタを本製品に接続します。

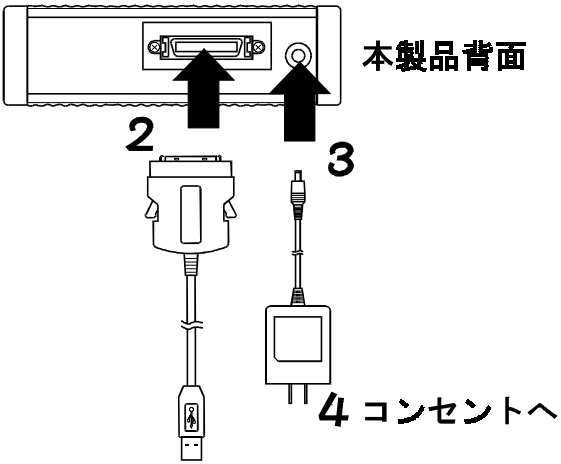
4 ACアダプタをAC100V電源コンセントに接続します。

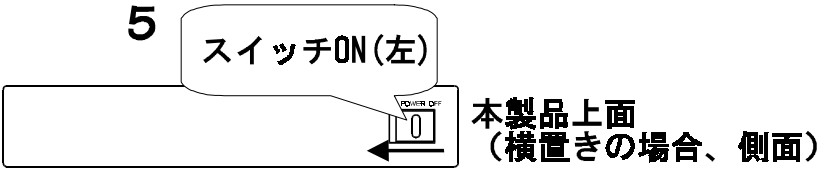
5 本製品の電源を入れます。

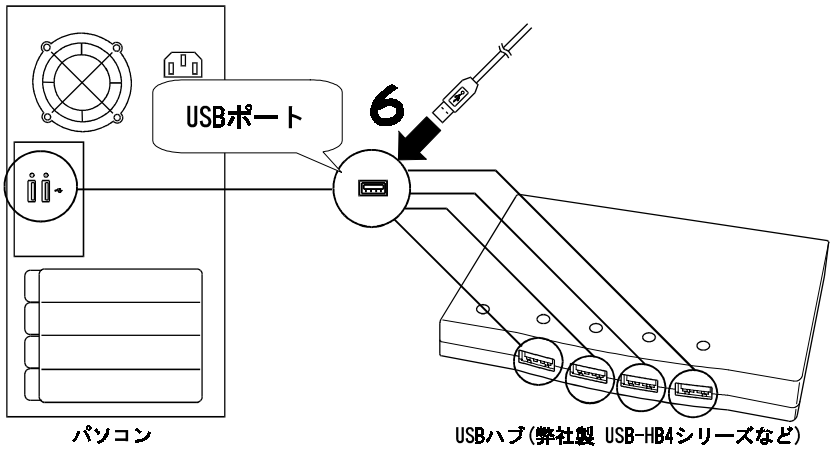
必ず本製品の電源を入れた後で、USBポートに接続してください。

6 USBコンバータケーブルをUSBポートに接続します。

手順*2*で接続したUSBコンバータケーブルのもう一方を、USBポートにまっすぐに差し込みます。


本製品背面
2
3
4 コンセントへ

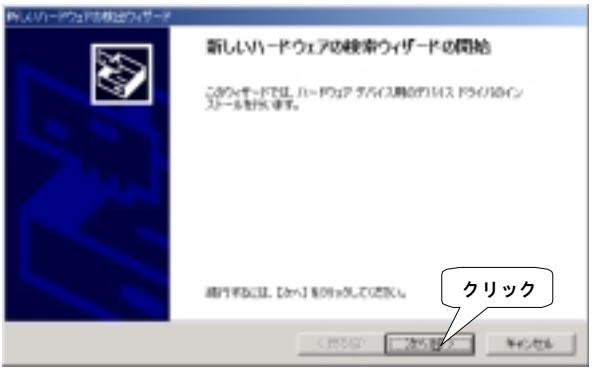

5
スイッチON(左)
POWER OFF
本製品上面
（横置きの場合、側面）


USBポート
6
パソコン
USBハブ(弊社製 USB-HB4シリーズなど)

本製品を認識させる

ここでは本製品をWindows 2000上で認識させる手順を説明します。

7 ［次へ］ボタンをクリックします。

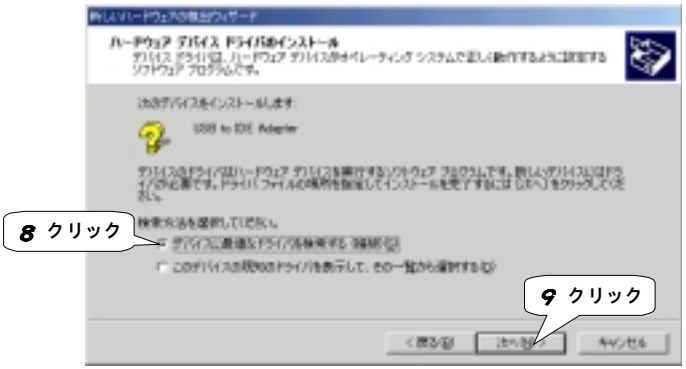


この画面が表示されない

本製品の接続が正しくありません。【取り付け手順】(P59)をご覧ください。

8 ［デバイスに最適なドライバを……］を選択します。

9 ［次へ］ボタンをクリックします。

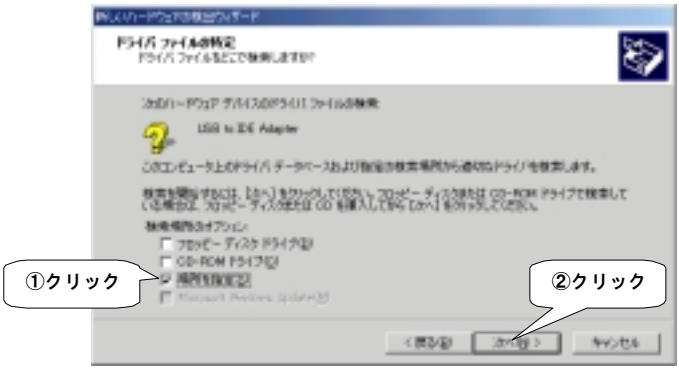


10 「MOA/USBシリーズサポートソフト」を挿入します。

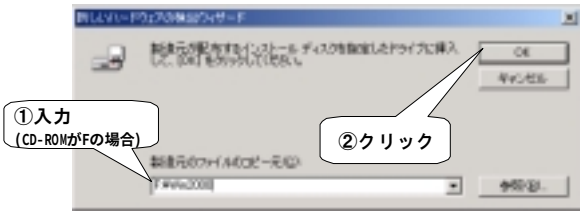
11 検索場所を指定し、［次へ］ボタンをクリックします。

①［場所を指定］のみにチェックします。

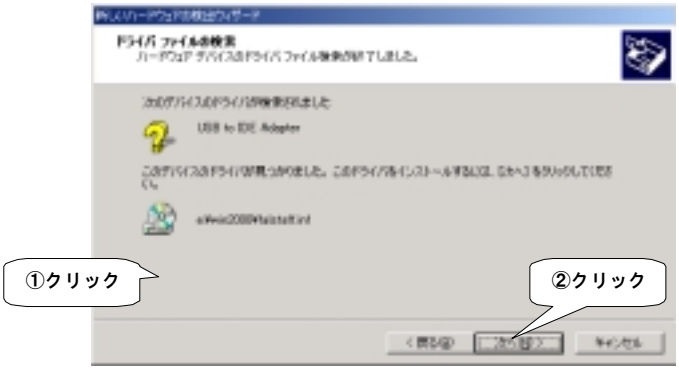
②［次へ］ボタンをクリックします。



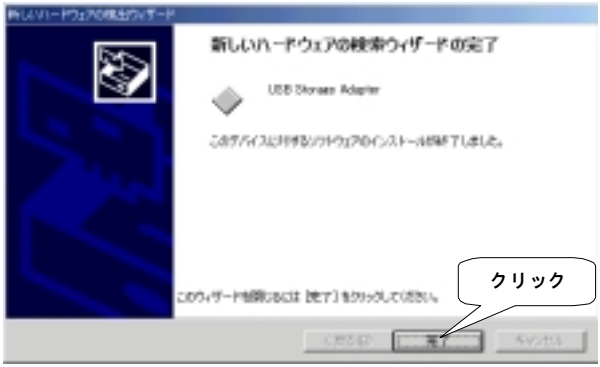
12 [Win2000]フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。



13 ［次へ］ボタンをクリックします。



14 ［完了］をクリックします。



今までの設定の確認

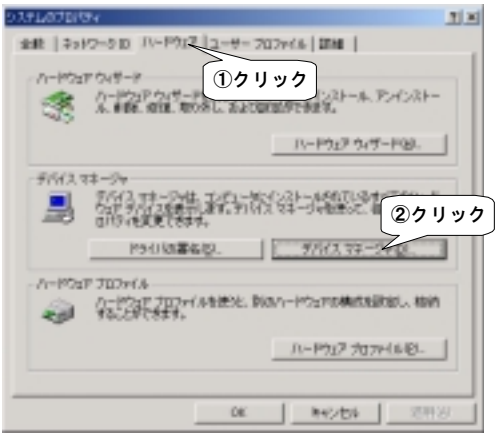
ここでは本製品のドライバが正しくインストールされているかどうか確認します。

15 「デバイスマネージャ」を起動します。

①［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［ハードウェア］タブをクリックします。

③［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



16 ［USB Storage Adapter］を確認します。

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］をダブルクリックします。

②その下の［USB Storage Adapter］を確認します。

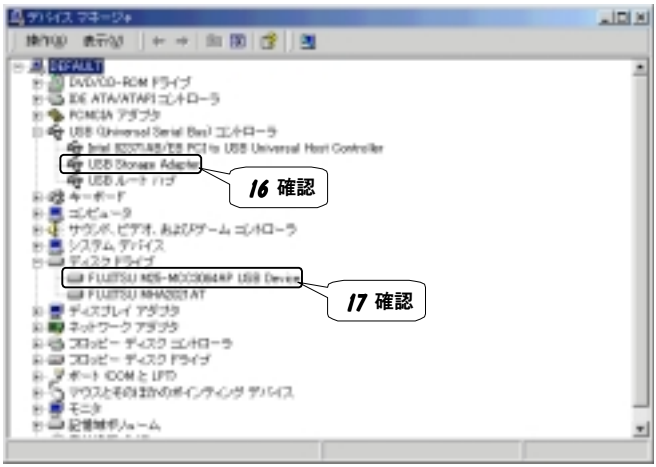
17 ［FUJITSU ・・・・・・・・・・］を確認します。

①［ディスクドライブ］をダブルクリックします。

②その下の［FUJITSU ・・・・・・・・・・］を確認します。

表示は本製品の種類によって異なります。

ここで表示される［FUJITSU ・・・・・・・・・・］は
MOA-AX640S(W) : FUJITSU M25-MCC3064AP または FUJITSU MCF3064AP
MOA-AX230H(W) : FUJITSU MCB3023AP



［USB Storage Adapter］に「！」がついている

正しくインストールされていません。【サポートソフトの削除】(P75)を行った後、【インストール】(P59)を行ってください。

ユーティリティをインストールする

ここでは本製品でMOディスクを使うために、ユーティリティをインストールします。

18 ［ファイル名を指定して実行］を起動します。

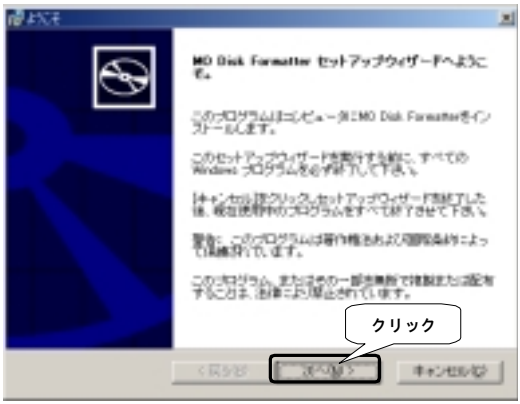
［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

19 「MOFORMAT」を実行します。

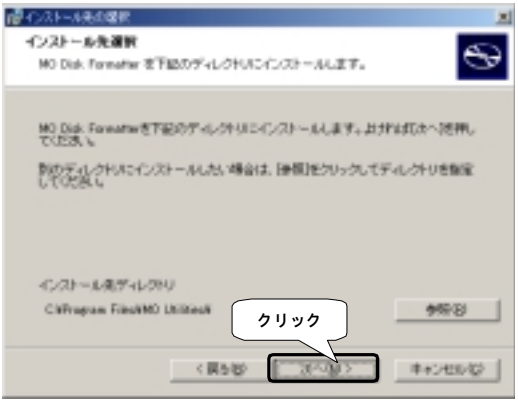
［マイコンピュータ］→［Moausb_1xx］→［W2KUTL］→［MOFORMAT］の順にダブルクリックします。



20 ［次へ］ボタンをクリックします。



21 ［次へ］ボタンをクリックします。

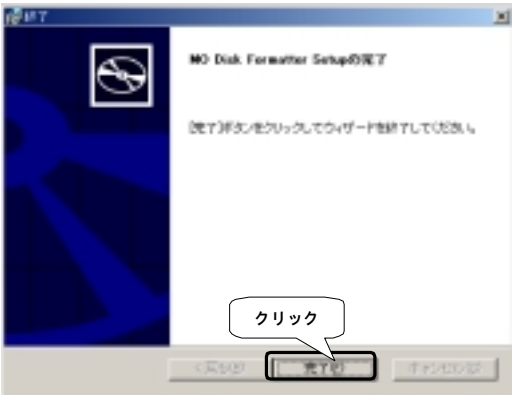


ここではインストール先のフォルダの設定を変更することができます。
設定を変更したい場合は、［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

22 ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒README.TXTが開かれますので、お読みください。

23 ［完了］ボタンをクリックします。



24 再起動します。

「MOF/USBシリーズサポートソフト」を取り出し、［はい］ボタンをクリックします。

以上でインストールは終了です。

ステップ3

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【取り付け手順】(P59)をご覧ください。

必ず、本製品の電源を入れた後で、本製品をパソコンに接続してください。

本製品をUSBポートから取り外す

1 本製品よりMOディスクを取り出します。

MOディスクを取り出す方法は【MOディスクを取り出す】(P70)をご覧ください。

USBポートからUSBコンバータケーブルを抜く前に、必ずMOディスクを取り出してください。

2 タスクトレイ内の［取り出し］アイコンをクリックします。

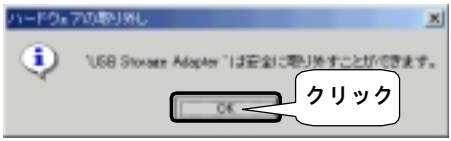


3 表示された「USB Storage Adapter ・・・・」をクリックします。



ドライブ文字（ドライブ番号）が本製品のものかどうか確認してください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 USBコンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

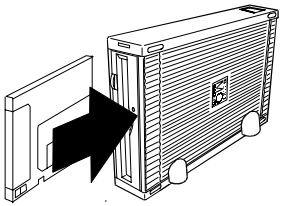
・本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBコンバータケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。
・必ずUSBコンバータケーブルはパソコン本体側から先に抜いてください。
USBコンバータケーブルをパソコン本体側から抜く前に、本製品から取り外さないでください。
USBコンバータケーブルを本製品から抜く前に、本製品の電源を切ってください。

6 本製品の電源を切ります。

MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに入れ、カチッと音がするまで押し込みます。



2 アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。

MOディスクを取り出す

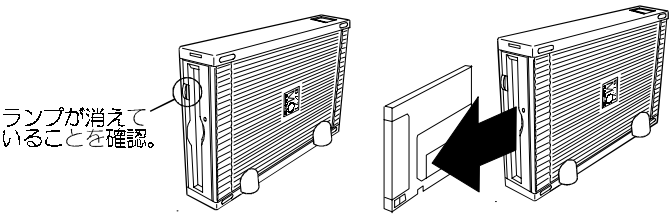
Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合は、電源を入れた本製品をUSBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。詳しくは【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P92)をご覧ください。

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P92)をご覧ください。

【MOディスクを取り出せない】(P80)をご覧ください。

ステップ4 ユーティリティを使おう

ここでは、インストールしたユーティリティを使う方法について説明しています。

インストールされたユーティリティ

インストールされたユーティリティは2つです。

MOディスクフォーマッタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

MOディスクをフォーマットするためのユーティリティです。

フォーマット／イジェクト権限変更ツール ・・・・・・・・・・・・・・ 74

Windows 2000では、Administrator権限のユーザーのみがMOディスクをフォーマットできます。しかし、このツールを使えば、ユーザー権限のユーザーでもMOディスクをフォーマットできるようにすることが可能です。

「MOディスクフォーマッタ」について

「MOディスクフォーマッタ」を使えば、MOディスクをフォーマットできます。

- **最初の設定では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットをすることができます。すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は、P74をご覧ください。**
- **「MOディスクフォーマッタ」は、Windows 98用の「MOフォーマット」とは異なり、アイコンを右クリックしても表示されません。次ページの手順にしたがって起動してください。**
- **Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合は、電源を入れた本製品をUSBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。詳しくは【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P92)をご覧ください。**

フォーマット方法

1 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

2 本製品にMOディスクを挿入します。

3 本製品を選びます。

ここで表示される［FUJITSU ・・・・・・・・・・］は
MOA-AX640S(W) : FUJITSU M25-MCC3064AP または FUJITSU MCF3064AP
MOA-AX230H(W) : FUJITSU MCB3023AP

上記の[FUJITSU・・・・]が表示されない

- 本製品の接続が正しくありません。【取り付け手順】(P59)をご覧ください。
- 【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P92)をご覧ください。

4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。

・選択できるフォーマット形式は以下のようになっています。
　-フロッピィ形式(FAT16)　　-フロッピィ形式(FAT32)
　-ハードディスク形式(FAT16)　　-ハードディスク形式(FAT32)
　通常は、「フロッピィ形式（FAT16）」でフォーマットしてください。
・（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットしたMOディスクには、MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSではアクセスできません。
・物理フォーマットは時間がかかるので、通常行う必要はありません。
　通常は物理フォーマットのチェックをしないでください。

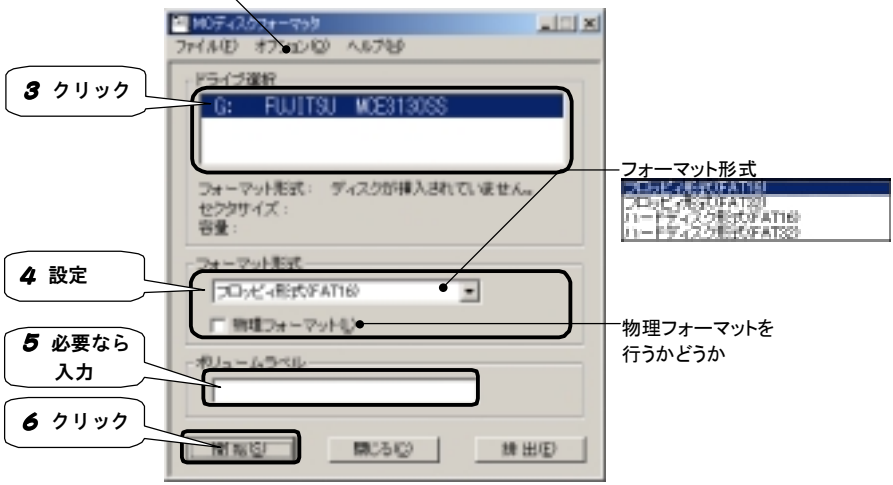
5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

6 ［開始］ボタンをクリックします。

（FAT32）の場合のみ



（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットを行う場合は、
［オプション］→［クラスタサイズの設定］にてクラスタサイズの設定ができます。
2KBytesほどの小さいファイルが多い場合は「2KBytes」に、
4KBytes以上の大きなファイルが多い場合は「4KBytes」に設定すると効率よくMOディスクを使うことができます。



「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマットできるようにすることが可能です。

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」は、Administrator権限を持つユーザーのみ使用することができます。ユーザー権限のユーザーではこのツールは使用できません。

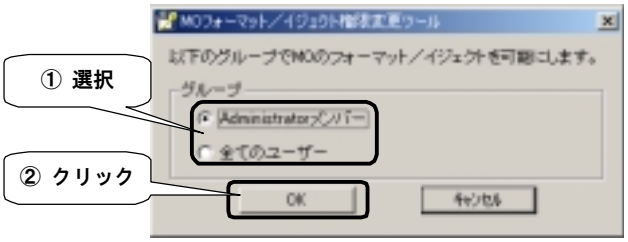
権限変更方法

1 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

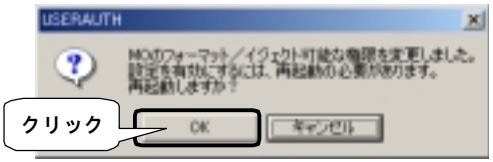
2 権限を変更します。

「グループ」でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



補足1　サポートソフトの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。

2 Administrator権限を持つユーザーでログインします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。表示された「コントロールパネル」内の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 削除するものを指定します。

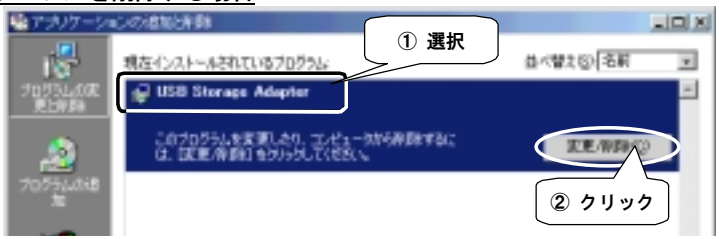
USBコンバータケーブルを削除する場合

［USB Storage Adapter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

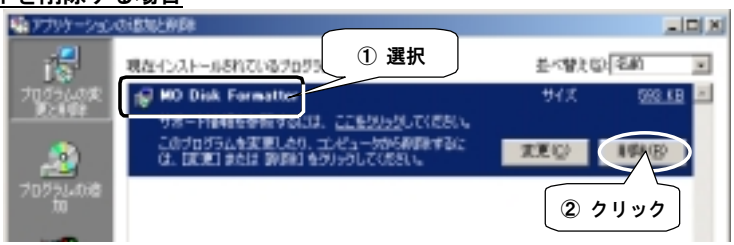
ユーティリティを削除する場合

［MO Disk Formatter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

USBコンバータケーブルを削除する場合



ユーティリティを削除する場合



5 **［はい］ボタンを２つクリックします。**

⇒再起動されます。

付録

困った時には
本製品を使用中に、異常があったときにご覧ください。(P78)

MacintoshとWindows98で共通のMOディスクを使おう
MOディスクをMacintoshとWindows98間でデータを移動するのに使うためのフォーマット方法です。(P94)

i・CONNECTについて
i・CONNECTについての説明です。(P96)

RINGOWIN LEについて
RINGOWIN LEについての説明です。(P97)

用語解説
本書内の用語を説明します。(P98)

ハードウェア仕様
本製品の仕様を説明します。(P99)

困った時には

トラブル	内容	ページ
共通	使用中にデータエラーが発生する	79
	フォーマットや書き込み作業中に処理が中断される	
	MOディスクにファイルの書き込みができない	
	電源を切った本製品を接続していると電源ランプがかすかに光る	
	MOディスクが取り出せない	80
	MOディスクを挿入しても反応がない	81
	本製品をUSBポートに接続しても認識しない	
	MOディスクを読み書きしていると他のUSB機器が認識しない	
Mac	「タイプエラー –110エラー」のウィンドウが表示される	82
	640MバイトのMOディスクをDisk First Aidで検証したらエラー報告された	
	本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
	MOディスクを初期化できない	
	「USB装置“USB to IDE Adapter”……」と表示される	83
	データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	84
Windows 98	・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に［ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙﾃﾞｨｽｸ］アイコンがない ・ドライバに「！」マークが付いている	85
	インストールができない	87
	インストールが途中で終わってしまった	89
	ファイルの読み書きができない	
	MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	90
	十分な空き容量があるのに書き込みができない	
	・本製品を接続すると、パソコンが止まってしまう ・本製品を接続してパソコンを起動すると、Safeモードになる	91
Windows 2000	Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない	92
	「ドライブのロックに失敗しました」と表示される	
	NTFS形式のMOディスクをリード／ライトできない	93
	アクセスランプが点灯していないのに下の画面が表示される	
	「ディスクのコピー」を実行できない	

共通のトラブル

使用中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドレンズが汚れている**

市販の専用ヘッドクリーナ［富士通製 光磁気ディスククリーニングカートリッジ（商品番号 0240470）］を使用して、本製品のクリーニングを行ってください。

フォーマットや書き込み作業中に処理が中断される

原因 **長時間の使用により高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコン本体の電源を切り、本製品が冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

電源を切った本製品を接続していると電源ランプがかすかに光る

原因 **電源を切った本製品をUSBポートに接続しない**

電源ランプが光ることは、本製品の仕様であり、問題ありません。
ただし、本製品をUSBポートに接続している際は必ず本製品の電源を入れている必要があります。
絶対に本製品を接続中に電源を切ったり、電源を入れていない本製品を接続しないでください。

MOディスクが取り出せない

原因１ パソコン本体の電源が入っていない

パソコン本体の電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２ 本製品がUSBポートに接続されていない

本製品をUSBポートに接続した状態で、MOディスクを取り出してください。

原因３ 機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコン本体の電源を切ってから、本製品の電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25㎜ほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみにご使用になると故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

MOディスクを挿入しても反応がない

原因１ **他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わった時点でMOディスクを使用することができるようになります。

原因２ **動作がおかしくなっている**

明らかに他のUSB機器の占有ではない場合、USBポートに接続しているUSBコンバータケーブルを抜き挿ししてください。

本製品をUSBポートに接続しても認識しない

原因１ **他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因２ **インストールが正しく行われていない**

【インストールが途中で終わってしまった】(P89)をご覧ください。

MOディスクを読み書きしていると他のUSB機器が認識しない

原因 **本製品がバスを占有している**

この場合すぐには、認識されません。本製品の占有が終わってから、USB機器をUSBポートに接続してください。

Macintoshでのトラブル

「タイプエラー -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 **DOSフォーマットのMOディスクにアクセスした**

MacintoshでDOSフォーマット(スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式)のMOディスクにアクセスしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640MバイトのMOディスクをDisk First Aidで検証したらエラー報告された

原因 **MacOSの仕様のため**

640MB MOディスク上のボリュームに対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、使用上は問題ありません。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 **現在、本製品からの起動には対応していない**

本製品からの起動には現在対応しておりません。

MOディスクを初期化できない

原因 **AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている**

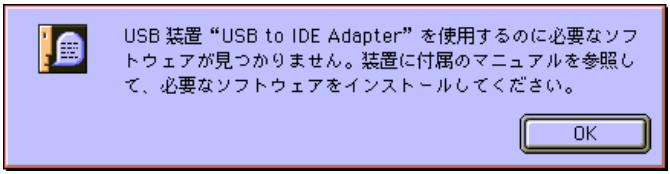
この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

「USB装置“USB to IDE Adapter”・・・・・・」と表示される

原因 **ドライバがインストールされていない**

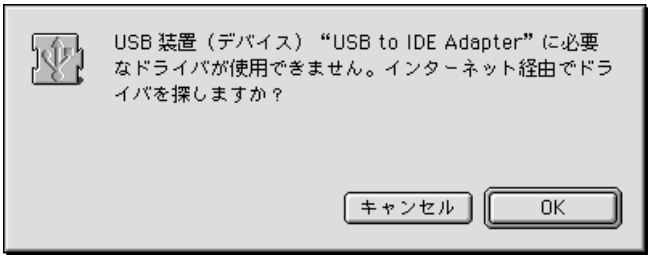
MacOS 8.5.1/8.6の場合

以下のような画面が出たら、［OK］ボタンを押し、【ドライバソフトのインストール】(P25)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



MacOS 9の場合

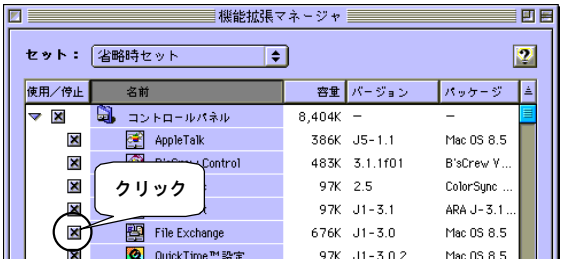
以下のような画面が出たら、［キャンセル］ボタンを押し、【ドライバソフトのインストール】(P25)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因１　File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。
「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。



原因２　認識できないフォーマット形式である

MOディスクの中のデータが必要な場合は、MOディスクを取り出してください。
MOディスクの中のデータが必要でない場合は、初期化を行ってください。

Windows98でのトラブル

・『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の中に［ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙﾃﾞｨｽｸ］アイコンがない
・ドライバに「！」マークが付いている

原因１　「更新」されていない

『マイコンピュータ』の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２　環境によっては本製品が正しく認識されない

①本製品をUSBポートから取り外します。
②MOドライブの電源を切り、再び入れます。
③本製品をUSBポートに接続します。

原因３　インストールが正常に行われていない

確認

電源を入れた本製品を取り付け、『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。
起動した「デバイスマネージャ」から**[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の下の「USB Storage Adapter」**と、**[SCSI ｺﾝﾄﾛｰﾗ]の下の「USB Storage Adapter Bridge Module」**を確認します。
デバイスの絵に「！」や「×」などのマークが表示されている場合は正常にインストールされていません。

対処

「！」や「×」がついていたドライバをクリックします。
［削除］ボタンを押します。その後、［更新］ボタンを押すとインストールが始まりますので、【ステップ***2***】(P39)をご覧になってインストールを行います。

原因４　ドライブ文字が割り当てられていない

次ページの【ドライブ文字の予約】の作業を行ってください。

ドライブ文字の予約

1 **「システムのプロパティ」を開きます。**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

3 **［種類別に表示］を選択します。**

4 **［ディスクドライブ］をダブルクリックします。**

5 **「本製品のドライバ」をダブルクリックします。**

本製品のドライバ名は以下の通りです。

MOA-AX640S(W)の場合：FUJITSU M25-MCC3064AP または FUJITSU MCF3064AP
MOA-AX230H(W)の場合：FUJITSU MCB3023AP

6 **［設定］タブをクリックします。**

7 **「予約ドライブ文字」を設定します。**

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

8 **［OK］ボタンをクリックします。**

9 **［OK］ボタンをクリックします。**

10 **OSを再起動します。**

インストールができない

原因1 すでにインストールされている

［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］がある場合は、すでにインストールされています。その場合は、【今までの設定の確認①】(P43)をご覧ください。

原因2 本製品が誤認識されている

下の手順にて、誤認識されているドライバを削除してください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

4 USBコントローラーの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

通常、USBコントローラーは「～USB～Controller」という名前になっています。

5 ［接続別に表示］を選択します。

6 USBコントローラーの名前を探します。

手順4で確認したUSBコントローラーを探します。
USBコントローラの名前を確認します。

**通常、USBコントローラーは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。**

7 USBコントローラーの下を確認します。

USBコントローラーの下にあるすべてのデバイスを書きとめます。

8 本製品をUSBポートから取り外します。

9 誤認識されているデバイスを確認します。

手順**7**で書きとめたデバイスと、現在のデバイスを見比べて、消えているデバイスを確認します。
これが誤認識されているデバイスです。

10 本製品をUSBポートに接続する。

11 誤認識されているデバイスを削除します。

誤認識されているデバイスを選択し、［削除］ボタンをクリックします。

12 本製品をUSBポートから取り外し、再起動します。

本製品をUSBポートから取り外し、パソコンを再起動してください。

13 インストールします。

【インストール】(P39)をご覧ください。

インストールが途中で終わってしまった

原因 **本製品の電源を入れずにインストールを行った**

1 **「システムのプロパティ」を開きます。**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

3 **［接続別に表示］を選択します。**

4 **［USB Storage Adapter］の下を全て削除します。**

［USBルートハブ］→［USB Storage Adapter］の順にダブルクリックします。表示された［USB Storage Adapter］の下にある全てのドライバを削除します。

5 **［OK］ボタンをクリックします。**

6 **もう一度インストールを行います。**

【ステップ**2**】(P39)をご覧になってインストールを行ってください。

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

1)【MOディスクをフォーマットする】(P51)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全てなくなります）

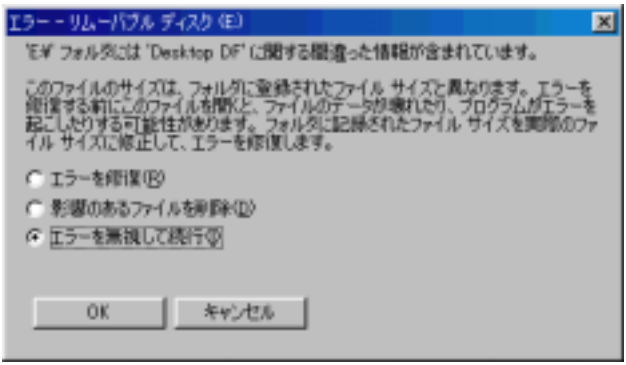
2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、付属の「RINGOWIN LE」を使ってください。(P97)

※ ただし、Mac OSで本製品を使ってフォーマットしたMOディスクは「RINGOWIN LE」では認識できません。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、MacOS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因 **ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている**

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。

その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。

作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

・本製品を接続すると、パソコンが止まってしまう
・本製品を接続してパソコンを起動すると、Safeモードになる

原因１　本製品の電源を入れずに接続した

必ず本製品の電源を入れてから、本製品をパソコンに接続してください。

原因２　USBコンバータケーブルが正常に接続されていない

1　USBポートから本製品を取り外します。

2　パソコンを再起動します。

3　USBコンバータケーブルの取り付けを確認します。

【取り付け手順】(P39)を参照して、USBコンバータケーブルを取り付けなおします。

4　本製品を再びUSBポートに接続します。

Windows2000でのトラブル

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない

原因１

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」で権限を「全てのユーザー」にしていない

Windows 2000は、そのままではAdministrator権限以外のユーザーにてMOディスクのフォーマット／イジェクトをすることはできません。

【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(P74)をご覧になり、権限を「全てのユーザー」にしてください。

原因２

本製品をUSBポートに接続したまま起動していない

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、必ず電源を入れた本製品をUSBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。

また、この方法でWindows 2000を起動しても一度本製品をUSBポートから取り外し、再び接続した場合はMOディスクをフォーマットしたり取り出したりすることはできません。その際は、本製品を接続したまま、Windows 2000を再起動してください。

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される

原因

MOディスク内のファイルを開いている

「MOディスクフォーマッタ」の作業時に、他のアプリケーションでMOディスク内のファイルを開いていたり、「エクスプローラ」でMOディスク内を開いていると、このエラーが表示されます。

MOディスク内を開いているすべてのアプリケーションを終了し、もう一度フォーマットしてください。

NTFS形式のMOディスクをリード／ライトできない

原因 **MOディスクがライトプロテクト状態になっている**

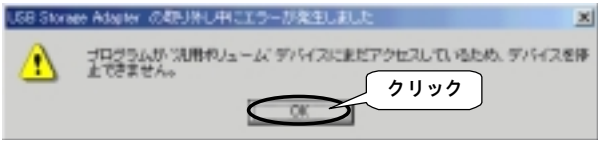
他のMOドライブなどで作ったNTFS形式のMOディスクをお使いになる場合は、ライトプロテクトノッチを書き込み許可にしてください。

アクセスランプが点灯していないのに下の画面が表示される

原因 **Windows 2000用MOユーティリティソフトで物理フォーマットしたか、フォーマット後すぐに本製品を取り外した**

本製品を取り外すとき、アクセスランプが点灯していないのに、手順１の画面が表示された場合は、以下の手順で取り外せます。

1 ［OK］ボタンをクリックします。



2 Windows 2000を再起動します。

3 USBポートから本製品を取り外します。

【本製品をUSBポートから取り外す】(P68)を参照し、本製品を取り外します。

「ディスクのコピー」を実行できない

原因 **MOディスクに「ディスクのコピー」は実行できない**

Windows 2000では、［ディスクのコピー］（［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックで表示される）はMOディスクに実行できません。

「ディスクのコピー」はAdministrator権限以外のユーザーでログインした場合のみ表示されます。

MacintoshとWindows98で共通のMOディスクを使おう

ここでは、MacintoshとWindows98マシンとでデータを交換するための方法について説明しています。

MOディスクのフォーマット

128～540Mバイト のMOディスク

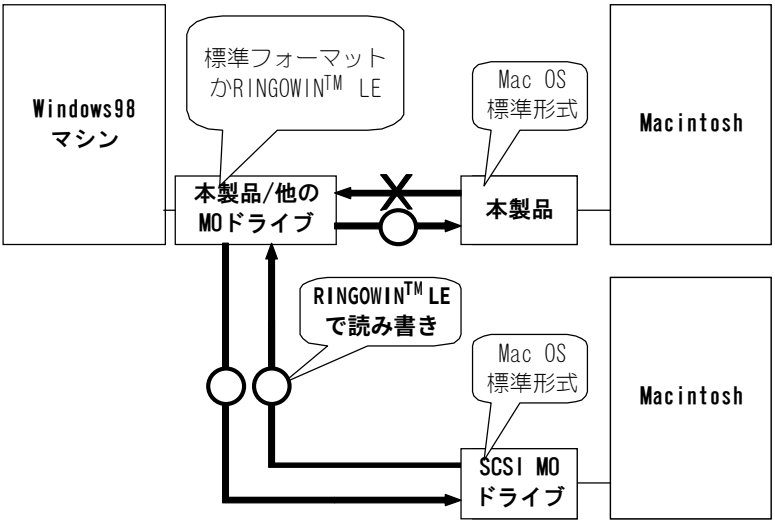
Windows98マシンでフォーマットしたMOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

640Mバイト のMOディスク

Windows98マシン上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットしたMOディスクをお使いください。

1)Windows98マシンでフォーマットした640MバイトのMOディスクは、Macintoshではご使用いただけません。
2)Macintoshで頻繁に使用するMOディスクは容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをお勧めします。ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。
3)MacintoshでDOS形式の初期化を行うことはお勧めいたしません。Windowsにてフォーマットを行ってください。
4)本製品でフォーマットしたMOディスクからはOSを起動できません。
5)Macintosh/Windows98間のアプリケーション・データの互換性については、データを生成したアプリケーションの製作会社にお問い合わせください。

[参考] 読み書き可能なフォーマット形式、MOドライブ相関表



[参考] Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

記号の説明

「○」可、「△」可だが推奨しない、「×」不可

i・CONNECTについて

本製品は「i・CONNECT」に対応しています。
「i・CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

IDE/ATAPIドライブは多くのパソコン本体に標準実装されているため、最新の高性能ドライブをタイムリーにローコストで安定供給できます。

また、i・CONNECT搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」接続ドライブや「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続ドライブ、Duo ATA PCカードで「PCカード」接続ドライブとしても使用できます。



RINGOWIN LEについて

Windows側でMacintoshフォーマットの MOディスクを読み取ったり、Macintoshフォーマットの MOディスクを作成できるWindows用ソフトウェアです。
これがあれば、Windows98マシンでMacintoshのデータを受け取ったり、Windows98マシンのデータをMacintosh用に変換して、Macintoshに渡すことができます。

【RINGOWIN LEの使用方法について】

本製品に添付のCD-ROMに、「RINGOWIN LE」のプログラム本体とオンラインマニュアルが入っています。
インストール方法や使用方法の詳細は、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にあるRINGOWIN.TXT（テキスト形式）またはRWLE_1.DOC、RWLE_2.DOC、RWLE_3.DOC（WORD形式）をご覧になるか、実行中にヘルプを参照してください。

《RINGOWIN LEのインストール方法》

RINGOWINフォルダ（ディレクトリ）内の「Setup.exe」を実行します。
詳細については、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にあるRINGOWIN.TXT（テキスト形式）やRWLE_1.DOC、RWLE_2.DOC、RWLE_3.DOC（WORD形式）をご覧ください。

1)WORD形式のオンラインマニュアルで、画面データなどが見づらい場合は、表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。
2)「RINGOWIN LE」を使ってデータ交換を行う場合は、 Windows98マシンで「RINGOWIN LE」を使ってMacフォーマットをし、そのMOディスクをお使いください。
「RINGOWIN LE」では、Mac OSで本製品を使って初期化したMOディスクは認識できません。

用語解説

USB(ユーエスビー)(Universal Serial Bus)

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き挿しできる。
- USBポートから電源供給が可能なので外部電源がいらない。
  （消費電流が低い場合）
- 複数のIRQを使用しないので、機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。

転送速度は、ハイスピードモード（12Mbps）とロースピードモード（1.5Mbps）の２種類がある。本製品はハイスピードモードで動作している。

ハードウェア仕様

●MOA-AX640S/USB, MOA-AX640SW/USB

インターフェイス	USB1.1対応
使用可能MOディスク	128/230※/540※/640MB※ （※ オーバーライト対応ディスクを含む）
セクタサイズ	・128/230/540MBのMOディスクは512バイト ・640MBのMOディスクは2048バイト
シークタイム（平均）	28ms
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度	12Mビット/sec（理論値）
バッファサイズ	512Kバイト
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	+20%～+80%（ただし結露なきこと）
電源	**ACアダプタ** +5.0V,2.2A **USB** +4.40～+5.25V,98mA
本体サイズ	33(H) × 117(W) × 187(D) mm
ケーブル長	1ｍ
質量	本体 約830g USBコンバータケーブル 約62g

●MOA-AX230H/USB, MOA-AX230HW/USB

インターフェイス	USB1.1対応
使用可能MOディスク	128/230※ （※ オーバーライト対応ディスクを含む）
セクタサイズ	512バイト
シークタイム（平均）	28ms
MOディスク回転数	4300rpm
データ転送速度	12Mビット/sec（理論値）
バッファサイズ	512Kバイト
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	+20%～+80%（ただし結露なきこと）
電源	**ACアダプタ** +5.0V,2.2A **USB** +4.40～+5.25V,98mA
本体サイズ	33(H) × 117(W) × 187(D) mm
ケーブル長	1ｍ
質量	本体 約830g USBコンバータケーブル 約62g

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。
以下に記入して、お問い合わせのときにお知らせください。
連絡方法については次ページをご覧ください。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (本書の巻末に貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

《連絡方法》

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/support/** **「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。**
@nifty	**ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室**

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「MOA-AX/USBシリーズ」係　宛

■電話

電話番号	**本社**	**076-260-3366**
	東京	**03-3254-0301**
受付時間	**9:30～19:00** **月～金曜日（祝祭日を除く）**	

■FAX

FAX番号	**本社**	**076-260-3360**
	東京	**03-3254-9055**
宛先	**株式会社アイ・オー・データ機器** **サポートセンター「MOA-AX/USBシリーズ」係　宛**	

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」**
@nifty	**ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ7(LIB 7)**

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「MOA-AX/USBシリーズ」 サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサービス窓口ではお受けできません。

保証について

◎保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。修理するか否かを送られてきた往復ハガキにご記入の上、ご返送ください。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所 **〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
株式会社アイ・オー・データ機器
「MOA-AX/USBシリーズ」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- サービス窓口

電話番号 **金沢 076-260-3663**

受付時間 **9:30～12:00 13:00～17:00**
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。